

2018
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学 生涯スポーツ学部 4 年次
HOKUSHO UNIVERSITY
School of lifelong sport

平成30年度 北翔大学・北翔大学短期大学 学事日程

月	火	水	木	金	土	日	備考
						4 / 1	
4 / 2	4 / 3 在学オリエンテーション	4 / 4 入学式	4 / 5 オリエンテーション	4 / 6 オリエンテーション	4 / 7	4 / 8	
4 / 9 ①	4 / 10 ①	4 / 11 ①	4 / 12 ①	4 / 13 ①	4 / 14	4 / 15	教育学科看護教諭コース3年次 看護実習：4 / 9～4 / 27
4 / 16 ②	4 / 17 ②	4 / 18 ②	4 / 19 ②	4 / 20 ②	4 / 21	4 / 22	
4 / 23 ③	4 / 24 ③	4 / 25 ③	4 / 26 ③	4 / 27 ③	4 / 28	4 / 29 昭和の日	
4 / 30 振替休日	5 / 1 7 / 16の振替休日	5 / 2 9 / 24の振替休日	5 / 3 憲法記念日	5 / 4 みどりの日	5 / 5 こどもの日	5 / 6	
5 / 7 ④	5 / 8 ④	5 / 9 ④	5 / 10 ④	5 / 11 ④	5 / 12	5 / 13	
5 / 14 ⑤	5 / 15 ⑤	5 / 16 ⑤	5 / 17 ⑤	5 / 18 ⑤	5 / 19	5 / 20	こども学科2年次 教育実習：5 / 14～6 / 1
5 / 21 ⑥	5 / 22 ⑥	5 / 23 ⑥	5 / 24 ⑥	5 / 25 ⑥	5 / 26	5 / 27	
5 / 28 ⑦	5 / 29 ⑦	5 / 30 ⑦	5 / 31 ⑦	6 / 1 ⑦	6 / 2	6 / 3	健康福祉学科(介護)4年次 訪問介護実習：6 / 18～6 / 29
6 / 4 ⑧	6 / 5 ⑧	6 / 6 ⑧	6 / 7 ⑧	6 / 8 ⑧	6 / 9	6 / 10	健康福祉学科(介護)2年次 介護基礎実習：6 / 27～6 / 29
6 / 11 ⑨	6 / 12 ⑨	6 / 13 ⑨	6 / 14 ⑨	6 / 15 ⑨	6 / 16	6 / 17	
6 / 18 ⑩	6 / 19 ⑩	6 / 20 ⑩	6 / 21 ⑩	6 / 22 ⑩	6 / 23	6 / 24	
6 / 25 ⑪	6 / 26 ⑪	6 / 27 ⑪	6 / 28 ⑪	6 / 29 ⑪	6 / 30	7 / 1	
7 / 2 ⑫	7 / 3 ⑫	7 / 4 ⑫	7 / 5 ⑫	7 / 6 ⑫	7 / 7	7 / 8	
7 / 9 ⑬	7 / 10 ⑬	7 / 11 ⑬	7 / 12 ⑬	7 / 13 ⑬	7 / 14	7 / 15	
7 / 16 海の日⑭	7 / 17 ⑭	7 / 18 ⑭	7 / 19 ⑭	7 / 20 ⑭	7 / 21	7 / 22	
7 / 23 ⑮	7 / 24 ⑮	7 / 25 ⑮	7 / 26 ⑮	7 / 27 ⑮	7 / 28	7 / 29	教育学科4年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ：8月
7 / 30 補講・試験日(月)	7 / 31 補講・試験日(火)	8 / 1 補講・試験日(水)	8 / 2 補講・試験日(木)	8 / 3 補講・試験日(金)	8 / 4	8 / 5	教育学科看護教諭コース2年次 看護学臨床実習：8月中
8 / 6	8 / 7	8 / 8	8 / 9	8 / 10	8 / 11 山の日	8 / 12	健康福祉学科(介護)3年次 介護実習Ⅱ：8 / 20～9 / 28
8 / 13	8 / 14	8 / 15	8 / 16	8 / 17	8 / 18	8 / 19	健康福祉学科3年次 相談援助実習：8月～9月
8 / 20	8 / 21	8 / 22	8 / 23	8 / 24	8 / 25	8 / 26	教育学科3年次 教育実習Ⅰ(幼・小)： 幼稚園 8 / 20～9 / 7 小学校 8 / 20～9 / 14
8 / 27	8 / 28	8 / 29	8 / 30	8 / 31	9 / 1	9 / 2	
9 / 3	9 / 4	9 / 5 学園創立記念日	9 / 6	9 / 7	9 / 8	9 / 9	心理カウンセリング学科4年次 精神保健福祉援助実習：8月～9月
9 / 10	9 / 11	9 / 12	9 / 13	9 / 14	9 / 15	9 / 16	こども学科2年次 保育実習(保育所)：8月～9月
9 / 17 敬老の日	9 / 18	9 / 19	9 / 20 オリエンテーション	9 / 21 ①	9 / 22	9 / 23 秋分の日	こども学科2年次 保育実習(施設)：9月～12月
9 / 24 振替休日①	9 / 25 ①	9 / 26 ①	9 / 27 ①	9 / 28	9 / 29 大学祭	9 / 30	
10 / 1 ②	10 / 2 ②	10 / 3 ②	10 / 4 ②	10 / 5 ②	10 / 6	10 / 7	
10 / 8 体育の日	10 / 9 ③	10 / 10 ③	10 / 11 ③	10 / 12 ③	10 / 13	10 / 14	
10 / 15 ③	10 / 16 ④	10 / 17 ④	10 / 18 ④	10 / 19 ④	10 / 20	10 / 21	
10 / 22 ④	10 / 23 ⑤	10 / 24 ⑤	10 / 25 ⑤	10 / 26 ⑤	10 / 27	10 / 28	
10 / 29 ⑤	10 / 30 ⑥	10 / 31 ⑥	11 / 1 ⑥	11 / 2 ⑥	11 / 3 文化の日	11 / 4	
11 / 5 ⑥	11 / 6 ⑦	11 / 7 ⑦	11 / 8 ⑦	11 / 9 ⑦	11 / 10	11 / 11	
11 / 12 ⑦	11 / 13 ⑧	11 / 14 ⑧	11 / 15 ⑧	11 / 16 ⑧	11 / 17	11 / 18	
11 / 19 ⑧	11 / 20 ⑨	11 / 21 ⑨	11 / 22 ⑨	11 / 23 勤労感謝の日⑨	11 / 24	11 / 25	
11 / 26 ⑨	11 / 27 ⑩	11 / 28 ⑩	11 / 29 ⑩	11 / 30 ⑩	12 / 1	12 / 2	
12 / 3 ⑩	12 / 4 ⑪	12 / 5 ⑪	12 / 6 ⑪	12 / 7 ⑪	12 / 8	12 / 9	
12 / 10 ⑪	12 / 11 ⑫	12 / 12 ⑫	12 / 13 ⑫	12 / 14 ⑫	12 / 15	12 / 16	
12 / 17 ⑫	12 / 18 ⑬	12 / 19 ⑬	12 / 20 ⑬	12 / 21 ⑬	12 / 22	12 / 23 天皇誕生日	
12 / 24 振替休日	12 / 25	12 / 26	12 / 27	12 / 28	12 / 29	12 / 30	
12 / 31	1 / 1 元旦	1 / 2	1 / 3	1 / 4	1 / 5	1 / 6	
1 / 7 ⑬	1 / 8 ⑭	1 / 9 ⑭	1 / 10 ⑭	1 / 11 ⑭	1 / 12	1 / 13	
1 / 14 成人の日	1 / 15 11 / 23の振替休日	1 / 16 ⑮	1 / 17 ⑮	1 / 18 ⑮	1 / 19	1 / 20	
1 / 21 ⑭	1 / 22 ⑮	1 / 23 補講・試験日(火)	1 / 24 補講・試験日(水)	1 / 25 補講・試験日(木)	1 / 26	1 / 27	
1 / 28 ⑮	1 / 29 補講・試験日(火)	1 / 30	1 / 31	2 / 1	2 / 2	2 / 3	
2 / 4 補講・試験日(月)	2 / 5	2 / 6	2 / 7	2 / 8	2 / 9	2 / 10	健康福祉学科(介護)2年次 介護実習Ⅰ：2 / 12～3 / 11
2 / 11 建国記念の日	2 / 12	2 / 13	2 / 14	2 / 15	2 / 16	2 / 17	心理カウンセリング学科3年次 精神保健福祉援助実習：2月～3月
2 / 18	2 / 19	2 / 20	2 / 21	2 / 22	2 / 23	2 / 24	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2月
2 / 25	2 / 26	2 / 27	2 / 28	3 / 1	3 / 2	3 / 3	教育学科3年次 保育実習Ⅰ(施設)：3月
3 / 4	3 / 5	3 / 6	3 / 7	3 / 8	3 / 9	3 / 10	
3 / 11	3 / 12	3 / 13	3 / 14	3 / 15	3 / 16	3 / 17	
3 / 18	3 / 19 学位記授与式	3 / 20	3 / 21 春分の日	3 / 22	3 / 23	3 / 24	
3 / 25	3 / 26	3 / 27	3 / 28	3 / 29	3 / 30	3 / 31	

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2018（平成30）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返し	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
就業力養成科目							
キ ャ リ ア 演 習 Ⅲ	演習	1		小 川 美 夏			1
キ ャ リ ア 演 習 Ⅳ	演習・講義		1	小 川 美 夏			2

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
社会と生活に関する科目群							
社 会 教 育 計 画	講義	2		藤 川 和 信		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	3
社 会 教 育 課 題 研 究	講義	2		宗 本 和 博		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	4
社 会 教 育 課 題 演 習	演習		2	阿 部 豊		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	5
社 会 教 育 施 設 論	講義	2		阿 部 豊		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	6
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義	2		佐々木 邦 子	教育文化学部共通科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	7

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
心身・健康に関する科目群							
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義	2		水 野 信太郎	スポーツ教育学科専門科目	[ス]認定トレーニング_必修	8
社会と生活に関する科目群							
社 会 教 育 計 画	講義	2		藤 川 和 信		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	3
社 会 教 育 課 題 研 究	講義	2		宗 本 和 博		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	4
社 会 教 育 課 題 演 習	演習		2	阿 部 豊		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	5
社 会 教 育 施 設 論	講義	2		阿 部 豊		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	6
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義	2		佐々木 邦 子	教育文化学部共通科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	7

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
コミュニケーション論	講義	2		粥 川 道 子			9
就 業 力 特 別 演 習 II	演習	1		梶 晴 美	介護福祉士		10
				小坂井 留 美	健康運動指導士		11
				佐 藤 至 英	特別支援		12
				吉 田 修 大	社会福祉士		13
				吉 田 昌 弘	AT		14
				渡 部 峻	教職(保健体育)		15
就 業 力 特 別 演 習 III	演習	1	小 田 史 郎	健康運動指導士	[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必	16	
			井 出 幸二郎	JATI	[健]ジュニアスポーツ指導員_必修	17	
			岩 本 希	社会福祉士		18	
			佐 藤 郁 子	介護福祉士		19	
			畠 山 孝 子	ジュニアスポーツ指導員		20	
			吉 田 真	AT		21	

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義	2		水 野 信太郎	発展科目	[ス]認定トレーニング_必修	23
ス ポ ー ツ 情 報 処 理	演習		2	山 本 敬 三		[ス]認定トレーニング_選必	24
運 動 処 方 演 習	演習	2		上 田 知 行	健康福祉学科同時展開	[ス]指導士_必修	25
			沖 田 孝 一				
			小坂井 留 美				
スポーツマーケティング	講義		2	永 谷 稔			26
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技		1	阿 部 達 彦	健康福祉学科同時展開	[ス][健]障がい者スポ指導員_必修	27
				齊 藤 雄 大			
専 門 演 習 Ⅲ	演習	②		担 当 教 員	集中講義		28
卒 業 研 究	演習		2	担 当 教 員	集中講義		29
知 的 障 害 教 育 Ⅱ	講義	2		瀧 澤 聡	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	30
肢 体 不 自 由 教 育 Ⅱ	講義	2		石 川 大	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	31
特別支援教育実習事後指導	講義		1	阿 部 達 彦	集中講義	[ス]特支1種_必修	32
				瀧 澤 聡			
特 別 支 援 教 育 実 習	実習	2	2	阿 部 達 彦	集中講義	[ス]特支1種_必修	33
				瀧 澤 聡			

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツ教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
ス ポ ー ツ 教 育 学	講義	②		竹 田 唯 史			34
ス ポ ー ツ 教 育 演 習 B	演習	2		近 藤 雄 一 郎			35
学 校 教 育 研 究 B	演習	2		渡 部 峻			36

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
健 康 産 業 施 設 実 習	実習	2		上 田 知 行	健康福祉学科同時展開 一部集中講義	[ス]指導士_必修	37
アスレティックトレーニング指導実習	実習	← 4 →		吉 田 真 吉 田 昌 弘	集中講義	[ス]アスレティックトレーナー_必修	38

スポーツ教育学科 学科専門科目 競技スポーツコース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
アスリートを取り巻く環境	講義	2		永 谷 稔			39
競技スポーツコーチング演習Ⅱ	演習	2		畠 中 智 志	集中講義		40
				大 西 昌 美			
				大 宮 真 一			
				菊 地 はるひ			
				竹 内 雅 明			
				永 谷 稔			
				畠 山 孝 子			
				廣 田 修 平			
				横 山 茜 理			

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教職に関する科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
教 育 実 習 事 後 指 導	講義		①	吉 澤 正 伸	一部集中講義	[ス]中・高 1 種(保健体育)_必修	41
				阿 部 達 彦			
				瀧 澤 聡			
				西 村 貴 之			
教 育 実 習 I	実習	4	4	西 村 貴 之	集中講義	[ス]中 1 種(保健体育)_必修、高 1 種(保健体育)_選必、 ジュニアスポーツ指導員_選必	42
				吉 澤 正 伸			
教 育 実 習 II	実習	2	2	西 村 貴 之	集中講義	[ス]高 1 種(保健体育)_選必	43
				吉 澤 正 伸			
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	講義・演習		②	西 村 貴 之		[ス]中・高 1 種(保健体育)_必修	44
				阿 部 達 彦			
				瀧 澤 聡			
				吉 澤 正 伸			

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教科又は教職に関する科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次					
		前	後				
学校ボランティア活動Ⅰ	実習	← 1 →		西 村 貴 之	集中講義		45
学校ボランティア活動Ⅱ	実習	← 1 →		西 村 貴 之	集中講義		46

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	展開他	免許・資格	ページ	
		4 年次						
		前	後					
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技		1	阿 部 達 彦	スポーツ教育学科同時展開	[健][ス]障がい者スポ指導員_必修	47	
				齊 藤 雄 大				
運 動 処 方 演 習	演習	2		上 田 知 行	スポーツ教育学科同時展開	[ス]指導士_必修	48	
				沖 田 孝 一				
				小坂井 留 美				
介 護 実 践 管 理 論	講義	2		八 巻 貴 穂			49	
				干 場 有 理 子				
				前 田 顕				
現 代 社 会 と 福 祉 I	講義	2		伊 藤 新 一 郎	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	50	
現 代 社 会 と 福 祉 II	講義		2	伊 藤 新 一 郎	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	51	
社会福祉行政・福祉計画論	講義	2		伊 藤 新 一 郎	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	52	
社 会 福 祉 運 営 管 理 論	講義	2		林 恭 裕		[健]社会福祉士_必修	53	
健康福祉専門職演習Ⅰ	演習	2		岩 本 希	社会福祉士		54	
				八 巻 貴 穂	介護福祉士		55	
健康福祉専門職演習Ⅱ	演習		2	吉 田 修 大	社会福祉士		56	
				梶 晴 美	介護福祉士		57	
健 康 産 業 施 設 実 習	実習	2		上 田 知 行	スポーツ教育学科同時展開 一部集中講義	[ス]指導士_必修	58	
福 祉 実 践 実 習	実習・演習	← 2 →		黒 澤 直 子	一部集中講義		59	
				尾 形 良 子				
専 門 演 習 Ⅲ	演習	②		担 当 教 員			60	
卒 業 研 究	演習		2	担 当 教 員			61	
介 護 実 習 指 導 Ⅲ	演習・実習	1		八 巻 貴 穂	介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	62	
				梶 晴 美	一部集中講義			
				佐 藤 郁 子	訪問介護実習を含む			
				本 間 美 幸				
医 療 的 ケ ア 演 習	演習	1		竹 内 美 幸	介護福祉士養成課程 集中講義	[健]介護福祉士_必修	63	

全学共通科目

科 目 名		キャリア演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		小川 美夏						
授 業 の 目 的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で実践教育に位置づけされます。就職活動中の民間企業希望者や福祉施設希望者、面接試験を控えた教員や公務員希望者を対象に開講します。演習では、グループディスカッションや模擬面接を通して「面接力」の向上を目指します。						
	到達目標	(1)模擬面接・模擬グループディスカッションを通して柔軟性と状況把握力を養う。 (2)志望先に合格できる「面接力」を向上する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(1) 【計画内容】 与えられたテーマに沿ってグループディスカッションを行う。終了後、同グループ内で自己評価する。 【準備学習の内容】 「キャリア演習Ⅱ」の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。					A、H、K	
	第2回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(2) 【計画内容】 Aチーム・Bチームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【準備学習の内容】 前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。					A、H、K	
	第3回	【テーマ】 面接官ワーク(1) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【準備学習の内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。					A、B、K	
	第4回	【テーマ】 面接官ワーク(2) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【準備学習の内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。					A、B、K	
	第5回	【テーマ】 面接官ワーク(3) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【準備学習の内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。					A、B、K	
	第6回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(3) 【計画内容】 Aチーム・Bチームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【準備学習の内容】 前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。					A、H、K	
	第7回	【テーマ】 面接力とは何かを考える 【計画内容】 第6回までの体験を通して、面接力に必要な視点を考える。 【準備学習の内容】 今までの振り返りを整理したうえで臨むこと。					A、H、K	
	第8回	【テーマ】 面接官ワーク(4) まとめ(課題提出) 【計画内容】 まとめとして、面接官ワークを行い、面接の本質を実践的に理解する。 【準備学習の内容】 前回の視点を生かしたうえで臨むこと。					A、B、K	
テキスト	プリントを使用する							
参 考 書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			40%		60%		
	補 足			第8回		平時		
質問への対応	講義終了後、必要な質問は随時受けます。							
資 格								
そ の 他								

科 目 名		キャリア演習Ⅳ			授業形態	演習・講義	単 位 数	1
教 員 名		小川 美夏						
授 業 の 目 的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で総括科目にあたります。将来の進路決定の有無に関わらず、今後一生続く自らのキャリアを見つめる社会人としての視点を習得することを目指します。さらに、社会人1年目から活躍できるように「+αの社会人力」を身につけ、応用力を養成することをねらいとします。						
	到達目標	(1)社会人の視点を習得する。 (2)物事に対する俯瞰的視点を習得する。 (3)社会のルール、社会的行動への理解を深める。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】一段上を行く社会人マナー(1) 【計画内容】できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【準備学習の内容】「キャリア演習Ⅱ」で学んだビジネスマナーを復習しておくこと。					A、B、K	
	第2回	【テーマ】一段上を行く社会人マナー(2) 【計画内容】できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【準備学習の内容】「キャリア演習Ⅱ」で学んだビジネスマナーを復習しておくこと。					A、B、K	
	第3回	【テーマ】私のキャリア観(1) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【準備学習の内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。					A、H、K	
	第4回	【テーマ】私のキャリア観(2) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【準備学習の内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。					A、H、K	
	第5回	【テーマ】働く人の法制度(1) 【計画内容】Q&A形式でわかりやすく、「こうした場合は？」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【準備学習の内容】「キャリアデザインⅡ」で学んだ仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールを復習しておくこと。					A、K	
	第6回	【テーマ】働く人の法制度(2) 【計画内容】Q&A形式でわかりやすく、「こうした場合は？」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【準備学習の内容】「キャリアデザインⅡ」で学んだ仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールを復習しておくこと。					A、K	
	第7回	【テーマ】私のキャリア観(3) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【準備学習の内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。					A、H、K	
	第8回	【テーマ】北翔大学から社会へ羽ばたくあなたへ 【計画内容】学長による講演。学長のキャリアと人生を通して、社会へ羽ばたく学生にエールを送る。 【準備学習の内容】後輩への手紙を事前課題とし、評価の対象とする。					A、H、K	
テキスト		プリントを使用する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			40%		60%		
	補 足			第8回		平時		
質問への対応		講義終了後、必要な質問は随時受けます。						
資 格								
そ の 他		ニュースを観る、新聞を読むという社会人の基本は継続すること。						

発 展 科 目

科 目 名		社会教育計画		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		藤川 和信					
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習社会の構築をめざし、地域の振興策を考える上で社会教育が果たす役割は大変重要なものがあります。社会教育を進める際にその指針となるのが社会教育計画です。社会教育計画を策定するための基本的な考え方を踏まえ、様々な事例を検討しながら計画策定の方法について学びます。授業形態については「講義」を中心に行いますが、内容に応じて「グループ討議」や「演習」などを取り入れながら進めていきます。					
	到達目標	(1)社会教育計画策定の基礎原理、策定手順に関する理論的枠組みが説明できる。 (2)社会教育における「学習プログラム」を企画することができる。 (3)自らすすんで課題を発見し、解決する姿勢をもつことができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】今年度の授業計画について説明し、各自受講するにあたっての目的意識を明確にします。各自の目標をワークシートに記入してもらいます。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】社会教育計画の意義と役割 【計画内容】社会教育計画の意義と役割について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A
	第3回	【テーマ】社会教育計画策定の視点と方法 【計画内容】社会教育計画を策定する上での視点、方法、評価などについて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A
	第4回	【テーマ】社会教育計画策定の手順 【計画内容】社会教育計画策定の手順と各様式との関連について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A
	第5回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用Ⅰ 【計画内容】社会教育調査の定義と種類、意義と方法について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、G
	第6回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用Ⅱ 【計画内容】社会教育調査の企画、調査票の作成、データの分析、活用方法などについて学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、G
	第7回	【テーマ】学習情報提供・学習相談Ⅰ 【計画内容】学習情報とは何かについて、また学習情報提供の方法について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A
	第8回	【テーマ】学習情報提供・学習相談Ⅱ 【計画内容】学習相談の意義について、また学習相談と相談員について学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A
	第9回	【テーマ】社会教育の広報・広聴 【計画内容】社会教育における広報の意義と実際、広聴の意義と実際について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、G
	第10回	【テーマ】社会教育の評価 【計画内容】評価の意義と視点、事業評価の内容と方法、学習評価の内容と方法などについて学びます。 【準備学習の内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。					A
	第11回	【テーマ】社会教育事業計画の実際Ⅰ 【計画内容】社会教育事業計画の必要性と計画の構造について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、B、H
	第12回	【テーマ】社会教育事業計画の実際Ⅱ 【計画内容】各種事業の企画、学習プログラム、展開プログラムの作成について学びます。 【準備学習の内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。					A、B、 F、H
	第13回	【テーマ】演習Ⅰ 青少年と社会教育計画 【計画内容】青少年を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B、H
	第14回	【テーマ】演習Ⅱ 成人と社会教育計画 【計画内容】成人を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【準備学習の内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。					A、B、H
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできたことを振り返り、社会教育計画策定の意義などについて再確認します。 【準備学習の内容】これまでの講義の内容や取組をまとめておくこと。					A、L
テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			50%		40%	10%
	補 足			レポート		出欠等	毎回のワークシート
質問への対応		講義時に受け付けます。					
資 格		[ス] [健] [教] [芸] [心]社会教育主事 _ 必修					
そ の 他							

科目名		社会教育課題研究		授業形態	講義	単位数	2	
教員名		宗本 和博						
授業の目的	ねらい	近年、各自治体や学校、各種機関や各団体、民間事業者においても多くの「学び」が行われるようになってい ます。変化の激しい時代にあって新たな社会的課題や地域課題が増大し、「組織的な教育活動である社会教育」が 多方面に広がりを見せているのです。新たな社会教育活動の新たな課題も含め、現在の社会教育の諸課題につ いて生涯学習・社会教育の観点から学びます。						
	到達目標	(1)社会教育主事として多様な社会教育の課題を理解し、説明できる (2)社会教育を推進する上で、その中心的な役割を担う社会教育主事の役割について理解を深める。						
授業計画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 「社会教育課題研究」のねらい、計画や到達目標を把握します。 【準備学習の内容】 シラバスを読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】 生涯学習と社会教育について 【計画内容】 社会教育と生涯学習の立場の違いやその役割と内容について学びます。 【準備学習の内容】 配付する資料を読み、疑問点等をまとめておくこと。					A、K	
	第3回	【テーマ】 現代的課題、社会課題について 【計画内容】 いわゆる「現代的課題」や新しい社会課題などについて総論的に学びます(それらの中から次回以降、特に健 康、環境問題、少子・高齢化問題等を取り上げ考究します)。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、K	
	第4回	【テーマ】 社会教育主事の資質と能力について 【計画内容】 社会教育を推進していく上で、社会教育主事の役割は大きいものがあります。求められるその資質と能力 とは何か、討論しながら考えていきます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H、L	
	第5回	【テーマ】 社会教育現場における「危機管理」について 【計画内容】 社会教育現場で問われる危機管理の在り方。危機管理について学び、事例に基づきグループでその対応策 をまとめ、発表します。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H	
	第6回	【テーマ】 社会教育における「連携・協力」とネットワークについて 【計画内容】 社会教育を推進する上で、地域や各種機関、各団体との連携・協力は不可欠の課題です。それをどのように ネットワーク化していくのか、資料に基づきグループ討議をしながら学習を深めます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H	
	第7回	【テーマ】 社会教育担当部局以外で行われている社会教育活動について 【計画内容】 社会教育担当部局以外で行われている社会教育活動(学習活動)の実態を学び、それらの現状についてどう とらえたらよいのか、グループ討議をとおして理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H	
	第8回	【テーマ】 社会教育施設について 【計画内容】 公民館、図書館、博物館、青少年教育施設などの社会教育施設は、社会教育活動の広がりによって、その活用 方法や運営がどのように変わってきたのか、そして変わっていくのか、意見交流をとおして学びます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H	
	第9回	【テーマ】 社会教育課題としての「環境問題」について 【計画内容】 生涯学習社会を見据えたとき、地域から地球規模までの環境問題についてどうとらえたらよいか、地域コ ミュニティの視点から意見交流を通して学びます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H	
	第10回	【テーマ】 まちづくりと少子・高齢化問題、人口減少問題について 【計画内容】 まちづくりの観点からも「人口減少問題」は喫緊の課題です。まず、少子・高齢化問題を資料から学び、人口 減少問題についてどのように考えていくのか、グループ討議等をとおしてその理解を深めます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H	
	第11回	【テーマ】 社会教育課題としての「健康等問題」について 【計画内容】 健康寿命や従来の健康観について資料を基に討議するとともに、例えば「人生100年設計構想時代」に向けた 社会教育のあり方やその果たす役割について考えていきます。 【準備学習の内容】 配付した資料を読みまとめておくこと。					H、I	
	第12回	【テーマ】 社会教育とNPO活動、ボランティア活動について 【計画内容】 地域における主体的な活動、例えば町内会活動、見守り活動、NPO活動や各種ボランティア活動について その実態を学び、社会教育主事としてそれらとつながる意味、つなげる意義を考えていきます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、H	
	第13回	【テーマ】 社会教育と家庭教育 【計画内容】 いじめや暴力など家庭や地域の教育力の向上に果たす社会教育の役割とは何か。家庭、学校、地域の「連携・ 協働」をどう醸成していくのか、社会教育の視点から意見交流や討論をとおして学びます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					A、I	
	第14回	【テーマ】 地域づくりについて 【計画内容】 配付資料から地域づくりの実践例を学び、地域づくりにおける社会教育活動と社会教育行政のノウハウを どう生かすのか、意見交流や討論をとおして学びます。 【準備学習の内容】 配付した資料をまとめておくこと。					G、H	
	第15回	【テーマ】 まとめと振り返り 【計画内容】 これまで学んできたことを振り返り、社会教育の多様な課題について整理します。 【準備学習の内容】 これまでの講義内容等をまとめておくこと。					F	
テキスト		プリントを使用する						
参考書		講義時に説明します						
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	補足			60%		40%	
					レポート等		関心意欲等	
質問への対応		口頭の質問は口頭もしくは文書で、文書の場合は文書で回答します。						
資格		[ス] [健] [教] [芸] [心]社会教育主事 _ 必修						
その他								

科 目 名		社会教育課題演習			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		阿部 豊						
授 業 の 目 的	ねらい	社会教育における学習者である成人や青少年の学習課題を明らかにし、社会教育施設の見学や、事業の企画・立案などの演習をとおして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解を深めるとともに、社会教育主事任用資格に必要なすべての科目にも着目しながら総合的に学習する。						
	到達目標	(1)社会教育の意義と歴史的展開について理解する。 (2)社会教育行政、社会教育職員について理解する。 (3)演習をとおして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】「生涯学習・社会教育」とは 【計画内容】生涯学習・社会教育の理念や意義、歴史的展開について学ぶとともに、授業のねらいや到達目標、授業の計画について把握する。 【準備学習の内容】シラバスを一読し、授業で習得したい事項を整理しておく。						A
	第2回	【テーマ】生涯学習・社会教育関連法令 【計画内容】生涯学習・社会教育に関連する法令について体系的に学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、関連法令について考えておく。						A
	第3回	【テーマ】社会教育行政と社会教育職員 【計画内容】社会教育行政の意義と社会教育職員の職種や役割について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育職員について考えておく。						A
	第4回	【テーマ】社会教育施設の意義と連携 【計画内容】公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等の社会教育施設の役割・機能、各施設間の連携の意義について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、各種社会教育施設の特色について考えておく。						A
	第5回	【テーマ】社会教育における学習課題(1) 【計画内容】社会の変化に伴う様々な問題点に着目し、成人や青少年の学習課題の変遷について学ぶ。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会の急激な変化とその対応について考えておく。						A、H
	第6回	【テーマ】社会教育における学習課題(2) 【計画内容】青少年を取り巻く社会環境等の変化から生じる様々な問題点を踏まえ、青少年の学習課題を明らかにする。 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、青少年の体力や学力、基本的生活習慣などについて考えておく。						A、B
	第7回	【テーマ】社会教育施設における事業の実践(1) 【計画内容】公民館、図書館、民間が運営する生涯学習関連施設を見学し、社会教育主事や司書から、施設の課題や経営方法について学ぶ。(砂川市内の社会教育施設等で実施) 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、砂川市内の社会教育施設等の概要を把握しておく。						A、B
	第8回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(1) 【計画内容】様々な社会教育事業の事例から、その必要性と企画・立案の視点について学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育事業の必要性について考えておく。						A、B、J
	第9回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(2) 【計画内容】第6回授業で明らかにした青少年の学習課題を学習目標としてとらえ、目標を達成するための事業の必要性について学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、学習目標と学習内容の関連について考えておく。						A、B
	第10回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際(1) 【計画内容】レクリエーションの企画について、演習をとおして体験的に学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、アイスブレイクの展開方法などについて考えておく。						A、B
	第11回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際(2) 【計画内容】グループに分かれて、実際にレクリエーションを企画し、その企画を発表、相互に体験・交流することをおとし、レクリエーションの意義などについて学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【準備学習の内容】事前にグループ編制を行うので、グループごとに企画の内容について考えておく。						B、H
	第12回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(3) 【計画内容】第8回授業・第9回授業を基に、必要な学習内容(プログラム)を考え、青少年を対象とした事業の企画・立案を行う。(ネイバル砂川で実施) 【準備学習の内容】青少年の問題点等が明らかになるデータ等、資料を準備しておく。						A、B
	第13回	【テーマ】社会教育施設における事業の実践(2) 【計画内容】博物館を見学し、学芸員から博物館の課題と経営方法について学ぶ。(滝川市内の博物館で実施) 【準備学習の内容】事前に配付した資料に基づき、滝川市自然史美術館・子ども科学館の概要について把握しておく。						A、B
	第14回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(4) 【計画内容】第12回授業を基に、学習に必要な教材や講師、学習の展開方法など、より具体的な企画・立案を行う。 【準備学習の内容】事前に配付した資料(青少年教育施設の主催事業の例)に基づき、事業の展開方法について考えておく。						B
	第15回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(5) 【計画内容】演習をとおして、企画・立案した事業について、相互に発表・交流を行い、社会教育事業の在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】事業の必要性や目的、特色などをまとめ、効率的なプレゼンテーションとなるよう準備しておく。						F
テキスト		プリントを使用する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
	補足			レポート等		授業内課題等		
質問への対応		講義時、講義後、その他可能な機会等で直接対応します。						
資 格		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修						
そ の 他		11月5日(月)から11月8日(木)に、ネイバル砂川で行う3泊4日の演習に参加すること。 (第1回授業で、宿泊を伴う演習の内容等、授業の計画について詳しく説明します。)						

科目名	社会教育施設論			授業形態	講義	単位数	2
教員名	阿部 豊						
授業の目的	ねらい	社会教育施設とは、社会教育に関する事業をとおして、市民に教育的・文化的サービスを提供することを主な目的とした公の教育施設である。まず、これらが設置された経緯、役割と機能について理解した上で、施設をめぐる課題と新たな動向を探り、これからの社会教育施設の在り方について学習する。					
	到達目標	(1)社会教育施設が設置された経緯について理解する。 (2)社会教育施設の特徴、役割と機能について理解する。 (3)社会教育施設の課題を踏まえ、これからの施設の在り方について理解する。					
授業の計画	第1回	【テーマ】社会教育施設の概要 【計画内容】社会教育施設の概要を理解するとともに、授業のねらいや到達目標、授業の計画について把握する。 【準備学習の内容】 シラバスを一読し、授業で習得したい事項を整理しておく。					A
	第2回	【テーマ】社会教育施設の設置の経緯 【計画内容】社会教育施設が設置された経緯や社会的背景、学習者の変遷について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設が設置された経緯について考えておく。					A、H
	第3回	【テーマ】公民館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】公民館に関連する法令、公民館の役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、関連する法令について考えておく。					A
	第4回	【テーマ】公民館の課題と経営 【計画内容】公民館の現状と課題を理解し、公民館の経営方法について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、公民館の課題について考えておく。					A
	第5回	【テーマ】図書館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】図書館に関連する法令、図書館の役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、関連する法令について考えておく。					A
	第6回	【テーマ】図書館の課題と新たな動向 【計画内容】図書館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な図書館活動について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、図書館の新たな動向について考えておく。					A、J
	第7回	【テーマ】博物館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】博物館に関連する法令、博物館の種類、それらの役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、博物館の種類について考えておく。					A
	第8回	【テーマ】博物館の課題と新たな動向 【計画内容】博物館の現状と課題を理解し、事例研究から、先導的な博物館の経営について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、博物館の新たな動向について考えておく。					A、J
	第9回	【テーマ】青少年教育施設の法的根拠と役割・機能 【計画内容】青少年教育施設に関連する法令、青少年教育施設の役割と機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、青少年教育施設の役割について考えておく。					A
	第10回	【テーマ】青少年期の課題と青少年教育施設の支援 【計画内容】青少年期、特に現代の少年期の課題を理解し、事例研究から、青少年教育施設における体験活動機会の提供について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、体験活動の意義について考えておく。					A、J
	第11回	【テーマ】生涯学習関連施設の種類と役割 【計画内容】社会教育施設以外の学習施設について理解し、その役割について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、生涯学習関連施設の種類について考えておく。					A
	第12回	【テーマ】社会教育施設職員と施設経営 【計画内容】社会教育施設職員の職種と役割について理解し、施設経営の在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設職員の職種と役割について考えておく。					A
	第13回	【テーマ】施設ボランティアの活動 【計画内容】社会教育施設でのボランティア活動の事例から、施設ボランティアの在り方について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設でのボランティア活動について考えておく。					A、H、J
	第14回	【テーマ】社会教育施設の管理運営に関する諸課題 【計画内容】施設の管理運営には、多様な形態があることを理解し、事例研究から、それぞれの課題と今後の方向性について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、施設の多様な管理運営について考えておく。					A、J
	第15回	【テーマ】情報化社会と社会教育施設 【計画内容】情報通信技術の発達について理解し、社会教育施設の情報化について学ぶ。 【準備学習の内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設の情報化について考えておく。					A
テキスト	プリントを使用する						
参考書	講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート等		授業内課題等	
質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会でご対応します。(質問することによって課題を解決し、社会教育施設に対する理解をさらに深めてください。)						
資格	[ス] [健] [教] [芸] [心]社会教育主事_選必						
その他	成績評価については、社会教育に対する関心を高め、社会教育施設への理解を深めてもらうため、毎回の授業を重視します。(評価の方針、方法については、第1回授業で詳しく説明します。)						

科目名	リカレント教育論				授業形態	講義	単位数	2
教員名	佐々木 邦子							
授業の目的	ねらい	リカレント教育とは、成人が学習の場に戻り再び職業へ回帰することをいう。生涯学習の範疇の一つであり、成人が学習する場合の重要な要素として位置づけられている。欧米では、主に職業的な向上を目指す教育として実施されてきたが、現在では満足感、達成感など精神的な面での効果も明らかになっている。そこで、本講義では、リカレント教育の日本での状況と、先進事例として、アクティブラーニングにより、学生の主体的で、かつ動的な学習を推進する。						
	到達目標	(1) OECD、ユネスコ、ILO などの国際機関がリカレント教育をどのように取り扱ったかを理解する。 (2)学習社会が進んでも Education by education の実態があることを理解する。 (3)リカレント教育先進国の事例を学習する。 (4)日本でリカレント教育が発達しなかった理由について、ILO の条約採択による諸外国との違いを理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス リカレント教育の基本的な考え方の説明 【計画内容】リカレント教育についての基礎を話し、講義の目標と進め方を説明する。また講義の実施方法として、アクティブ・ラーニングを取り入れて実施することを確認する。 【準備学習の内容】シラバスをよく読んでおくこと。					A	
	第2回	【テーマ】日本における生涯学習の成り立ちの復習 【計画内容】「生涯学習論」で学習した内容を復習し、リカレント教育につなげていく。 【準備学習の内容】事前配付のテキストを必ず読んでくること。					A	
	第3回	【テーマ】リカレント教育が日本で進行しなかった社会的背景 【計画内容】我が国の雇用慣行との関連について説明をする。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第4回	【テーマ】生涯学習政策の変化によって日本においてもリカレント教育の展開に変化が見られた点を確認 【計画内容】生涯学習が受け入れられたが、リカレント教育は当初の予測に反しそれほど発展しなかった。その後の生涯学習政策の転換によってリカレント教育にも進展の兆しが出てきたことを確認する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第5回	【テーマ】OECD・ユネスコにおけるリカレント教育の展開 【計画内容】OECD やユネスコでは、リカレント教育をどのように位置づけ展開したのかを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					A	
	第6回	【テーマ】ILO の有給教育休暇がリカレント教育の進展に与える影響の考察 【計画内容】ILO の有給教育休暇とリカレント教育の関連性について学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					K	
	第7回	【テーマ】中間まとめとしての課題 【計画内容】中間的なまとめとして前半に学習した内容について整理をする。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					G	
	第8回	【テーマ】フランス社会と学校教育制度の概観 【計画内容】アソシアシオンなどフランス流の生涯学習がリカレント教育とどのように関わるのかを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第9回	【テーマ】フランスにおけるリカレント教育 【計画内容】フランスでの生涯学習やリカレント教育の発展経緯を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第10回	【テーマ】スウェーデン社会と学校教育制度の概観 【計画内容】スウェーデンの社会や学校教育制度を学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第11回	【テーマ】スウェーデンにおけるリカレント教育 【計画内容】リカレント教育を政策として展開した国はスウェーデンしかないことに関して制度をよく学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第12回	【テーマ】ドイツの社会と学校教育制度の概観 【計画内容】ギムナジウムやデュアルシステムなど特殊なドイツの学校教育制度を確認する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第13回	【テーマ】ドイツにおけるリカレント教育 【計画内容】ドイツ社会の中で、成人教育と中等教育が密接に絡んでいることを学習する。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					F	
	第14回	【テーマ】リカレント教育に対する諸外国と日本の違いとその背景 【計画内容】リカレント教育に対する諸外国と日本の違いとその背景について学習をする。 【準備学習の内容】配付プリントを事前に目を通しておくこと。					H	
	第15回	【テーマ】リカレント教育の課題を再確認 【計画内容】リカレント教育と生涯学習の課題は合致する内容があることを学習し、今後の学習に役立てる。 【準備学習の内容】これまでの復習をし、使用したプリントを持参する。					A	
テキスト	プリントを使用します							
参考書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	60%		25%		15%		
補足								
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資格	[ス] [健] [教] [芸] [心]社会教育主事_選必							
その他	シラバスをよく読んで、真剣に最後まで学習しようという人に履修していただきたいと思います。時には、グループワークなどの形式をとり、アクティブ・ラーニングに対応させます。							

科 目 名		スポーツ施設管理論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		水野 信太郎						
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保しているべき環境条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面、専門家の資格などについて学ぶ。また施設・建築物の平面図を読み解く力を身につける。具体的には身の回りに実在する建築物を実測して提出する。						
	到達目標	(1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する専門用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)実際の建築物を調査して図面化することにより、図を読む力をつける。 (4)「体育施設運営士」ならびに「体育施設管理士」の資格を理解する。 (5)都市施設を中心とする今後の「まちづくり」への関心を高める。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】都市施設の平面図を作成する 【計画内容】教員が用意した文章を聞きながら、配付された用紙に平面図(プラン・間取り)を作成していく。入口から施設内に入り、順に各室を進んでいく。この作業によって平面図を表記する記号や約束事を身につける。完成した平面図を教室内で発表する。 【準備学習の内容】シラバス全体を熟読しておく。					K、F	
	第2回	【テーマ】さまざまな生涯スポーツ施設と生涯学習施設 【計画内容】さまざまなスポーツ施設を学生自ら列挙する。そのうえで公共施設の社会的意義を論ずる。競技スポーツと芸術表現を対比して、共通点と相違点などを明らかにする。大スパン構造を理解し、説明する。 【準備学習の内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。					A、H	
	第3回	【テーマ】施設の平面図採集 【計画内容】4月末から5月上旬の連休中に学生自身が赴く場所で、実在する建築物の現状平面図を作成して次回の授業で提出する。その作業のために必要な知識と手順を講義する。 【準備学習の内容】4月28日(土)から5月6日(日)までの連休中に出かける地域に関する情報を収集しておくこと。					A	
	第4回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程。その際に施設管理者が果たすべき役割を明らかにする。雨もり、水もれ、金属部分のさび、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えを学習する。 【準備学習の内容】新築、増築、改築について予習しておくこと。またメンテナンスフリーという考え方を調べておくこと。					G、H	
	第5回	【テーマ】通風と換気 【計画内容】良好な風通しの条件、換気回数の定義などを具体的に調べていく。 【準備学習の内容】換気原則と換気回数の定義を調べてくること。					A	
	第6回	【テーマ】温熱環境 【計画内容】温度、湿度、気流、輻射熱、着衣、運動量の差によって寒暖の感じ方が異なる点を理解する。 【準備学習の内容】暑さと寒さを人間が感じるさまざまな要素について情報を整理しておく。					F、H	
	第7回	【テーマ】結露とカビ 【計画内容】結露とはどのような現象か、カビが発生する諸条件などをトータルに学ぶ。 【準備学習の内容】日常生活で結露やカビに関する実体験を整理してくる。また対応策を自ら調べること。					A	
	第8回	【テーマ】空気調和 【計画内容】冬季の暖房、夏季の冷房、梅雨時期の除湿ほか空調の実情を理解する。換気、温熱環境、結露、空調という4週間分の授業内容をレポートライティングして提出する。 【準備学習の内容】4週間分の授業内容を整理しておき、レポートライティングに備える。					G	
	第9回	【テーマ】自然採光と人工照明 【計画内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取扱方法、グレア、色調ほかについて学習する。 【準備学習の内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取扱方法、グレアに関する予習をしておくこと。					A	
	第10回	【テーマ】給排水衛生設備と給湯システム 【計画内容】上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源についてグループで話し合う。その結果を教室で発表する。とりわけ未来のエネルギー源に関する積極的な展望を期待する。 【準備学習の内容】事前に上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源について自己の立場を整理してくる。					F、H	
	第11回	【テーマ】放送設備・昇降設備・防災設備と避難誘導 【計画内容】放送と音響環境、エレベーターとエスカレーター、火災報知機とスプリンクラー、ドレンチャーなどの消火設備、避難設備と2方向避難等を説明。危機管理対策を意識する。 【準備学習の内容】防災設備、避難設備などについて調べてくること。					A	
	第12回	【テーマ】安全な施設運営と効率的な経営 【計画内容】スポーツ施設運営のソフト面を講義する。この点もより大きく施設管理者には求められる。 【準備学習の内容】施設運営に関わる諸問題を調査して、授業時間内でワークシートを完成することができるように準備する。					J、K	
	第13回	【テーマ】体育施設運営士について 【計画内容】管理のソフト面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して学習・討論する。 【準備学習の内容】日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して調べておくこと。					I	
	第14回	【テーマ】体育施設管理士について 【計画内容】管理のハード面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設管理士に関して学習・討論する。 【準備学習の内容】日本体育施設協会公認の体育施設管理士に関して調査してくる。					I	
	第15回	【テーマ】まとめ・スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において望まれる施設運営の姿を探る。受講者諸君の意見をまとめる。 【準備学習の内容】15回分の講義のまとめとしてレポートを提出できるように準備する。					G、L	
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		講義時に提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%		20%	30%	20%		
	補足							
質問への対応		随時その都度、直接対応します。						
資 格		[ス] JATI 認定トレーニング指導者 _ 必修						
そ の 他		届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が極めて困難となります。						

学部共通科目

科 目 名				コミュニケーション論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				粥川 道子					
授 業 の 目 的	ねらい	スワンソンは「コミュニケーションは、温かさの伝えあい」と述べています。コミュニケーションは人と人との間に共同性を打ちたてようとする働きかけです。しかし人は皆、個々に違う価値観をもっています。そのため理想的なコミュニケーションを構築するには、互いに自らの心を開いて正直な気持ちや価値観を相手にさし示し、感情や価値観の共有化を図る努力をしない限り成立しません。本講義では、コミュニケーションの概念について学習するとともに言語・非言語コミュニケーションのコミュニケーション・スキルのトレーニング方法を体験します。また、近年、社会人基礎力のひとつとしてあげられるコミュニケーション力について考えます。							
	到達目標	(1)コミュニケーションの概念を理解する。 (2)コミュニケーション・スキルのトレーニング方法を知る。 (3)社会人基礎力としてのコミュニケーション力を考える。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】15回の講義内容と展開方法について説明します。講義終了時にレポート課題を配付します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A、G	
	第2回	【テーマ】コミュニケーションとは何か 【計画内容】コミュニケーションの概念について学びます。プレゼンテーションについて概説し、前回課したレポートの発表に備えます。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A	
	第3回	【テーマ】プレゼンテーションと自己理解 【計画内容】レポートで調べたラフトとインガムの対人関係における気づきの図解式モデルをグループ内で発表します。自己肯定尺度と対人緊張尺度の質問用紙によるセルフチェックを行います。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						B、F	
	第4回	【テーマ】言語コミュニケーションと自己理解 【計画内容】自己紹介について学んだ後、第3回の講義で行ったセルフチェックシートを基に自己紹介シートに自己開示と自己呈示のバランスを保った情報を記入し、2分間の自己紹介文を作成します。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、B	
	第5回	【テーマ】発信力・上手な話し方とは 【計画内容】第4回で作成した自己紹介シートを使用して受講生同士で自己紹介をします。ふりかえりシートを用いて発信力のセルフチェックを行います。その上で上手な話し方のポイントを学びます。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、H	
	第6回	【テーマ】傾聴力・上手な聴き方とは 【計画内容】他己紹介ゲームを行います。受講生間でその様子を観察し、専用シートを用いて互いに傾聴力のチェックを行います。その上で上手な聴き方のポイントを学びます。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、B、H	
	第7回	【テーマ】非言語コミュニケーションとは何か 【計画内容】イヌバラ法体験ゲームを行い非言語コミュニケーションの大切さを体験的に学びます。その上で、非言語コミュニケーションの種類と特質を確認します。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、G、H	
	第8回	【テーマ】社会的相互作用の循環過程とは何か 【計画内容】本講義でこれまでに実施したゲームを通して自己の発信力と傾聴力をセルフチェックします。他者とのコミュニケーションを通して生じる社会的相互作用の循環過程の仕組みを学び、自己の固着化からの脱却を目指します。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、B	
	第9回	【テーマ】アサーションとは何か 【計画内容】アサーションの歴史とアサーション権を学び、アサーションの考えに基づいたコミュニケーション・ワークを行います。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、K	
	第10回	【テーマ】エリスのABC理論とアサーティブな自己表現 【計画内容】エリスのABC理論を学び、実際に受講生間でアサーティブな自己表現に挑戦し、理想とするアサーティブな自己表現についてグループで考えます。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、H	
	第11回	【テーマ】ラポールとは何か 【計画内容】許容度意識調査を行い、自己の他者に対する許容度をセルフチェックします。また、ラポールについて学びます。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、B	
	第12回	【テーマ】社会人基礎力としてのコミュニケーション力① 【計画内容】社会人基礎力としてのコミュニケーション力とは何かをグループディスカッションを通して考えます。グループのまとめをクラス全体に発表します。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						F、H	
	第13回	【テーマ】グループプロセスとは何か 【計画内容】第12回のグループディスカッションを例として組織内ならびに組織間のコミュニケーションを見直し、グループプロセスについて学びます。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A	
	第14回	【テーマ】社会人基礎力としてのコミュニケーション力② 【計画内容】P. ドラッカーのコミュニケーションの4原則について学びます。その上で、グループで社会人基礎力としてのコミュニケーション力を再考し次回の全体発表用の原稿を作成します。講義終了時にレポートを課します。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						A、G、H	
	第15回	【テーマ】社会人基礎力としてのコミュニケーション力のまとめとレポート 【計画内容】これまでの講義のふり返しを行います。その後第14回で作成した「社会人基礎力としてのコミュニケーション力」についてグループごとに発表し、コミュニケーション・スキルの総まとめを行います。各自「社会人基礎力としてのコミュニケーションについて」レポートを提出します。 【準備学習の内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。						F、G、L	
テキスト		講義毎にプリントを配付します							
参 考 書		S.I. ハヤカワ、2005年、『思考と行動における言語』、岩波書店 P.F. ドラッカー、2010年、『マネジメント』、ダイヤモンド社							
成績評価の方法	配 分	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	補 足			30%		10%	プレゼンテーション・グループディスカッション・ロールプレイ		
質問への対応		ガイダンス時に具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他		本講義では、グループワークを多く取り入れているため、履修定員を60人としています。履修定員を超えた場合、ガイダンス時に配付するレポート課題成績が61番以下の学生は履修出来ない場合があります。							

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		梶 晴美						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、介護福祉士として働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を、「健康福祉専門職演習Ⅰ」と連動しながらさらに広げ、深める。						
	到達目標	(1)毎日少しずつでも学習に取り組み、学習習慣を修得する。 (2)基本的な知識を確実にするため、学習ノートを作成し活用する。 (3)全国模擬試験を受験し、自己の課題を知る。 (4)参考文献等を活用し、自己学習ができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス、模擬試験解説① 【計画内容】 授業のねらいと到達目標、15回の授業展開およびノートづくりについて説明する。模擬試験の午前問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読してくる。模擬試験の準備をしてくる。					A、B	
	第2回	【テーマ】 模擬試験解説② 【計画内容】 模擬試験の午前問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。					A、B	
	第3回	【テーマ】 人間関係とコミュニケーション、認知症の理解 【計画内容】 テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。					A、B	
	第4回	【テーマ】 人間の尊厳と自立、コミュニケーション技術 【計画内容】 テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。					A、B	
	第5回	【テーマ】 介護の基本① 【計画内容】 テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。					A、B	
	第6回	【テーマ】 介護の基本② 【計画内容】 テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。					A、B	
	第7回	【テーマ】 生活支援技術 【計画内容】 テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。					A、B	
	第8回	【テーマ】 医療ケア、介護過程 【計画内容】 テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【準備学習の内容】 テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。					A、B	
	第9回	【テーマ】 復習と確認 【計画内容】 前半に学習した科目に関する知識の定着状況を確認するため、模擬試験を行う。 【準備学習の内容】 前半の科目を総復習してくる。					B	
	第10回	【テーマ】 社会の理解① 【計画内容】 受験対策講座と連動し、テーマの科目について、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【準備学習の内容】 受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。					A	
	第11回	【テーマ】 社会の理解② 【計画内容】 受験対策講座と連動し、テーマの科目について、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【準備学習の内容】 受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。					A	
	第12回	【テーマ】 こころとからだのしくみ① 【計画内容】 受験対策講座と連動し、テーマの科目について、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【準備学習の内容】 受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。					A	
	第13回	【テーマ】 こころとからだのしくみ② 【計画内容】 受験対策講座と連動し、テーマの科目について、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【準備学習の内容】 受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。					A	
	第14回	【テーマ】 障害の理解 【計画内容】 受験対策講座と連動し、テーマの科目について、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【準備学習の内容】 受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。					A	
	第15回	【テーマ】 発達と老化の理解 【計画内容】 受験対策講座と連動し、テーマの科目について、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【準備学習の内容】 受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。					A	
テキスト	講義時に説明する							
参 考 書	『介護福祉士国家試験合格テキスト2019』、中央法規 『介護福祉士国家試験過去問解説集2019』、中央法規							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足					30%	70%	
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。							
資 格								
そ の 他	介護福祉士の資格取得を第一目標とする学生が履修登録してください。 第16回に全国模擬試験を行います。							

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		小坂井 留美						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。本講義の具体的な免許・資格は、「健康運動指導士」である。						
	到達目標	(1)健康運動指導士の役割や活躍の場について理解する。 (2)健康運動指導士に必要な知識を修得する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読してくる。						A
	第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康運動に関わる指導者の役割について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A
	第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康管理の基礎と課題について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A
	第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり施策の基礎と実際について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】生活習慣病の基礎と運動指導について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第6回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動生理学の基礎と指導実践について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第7回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】機能解剖とバイオメカニクスの基礎と指導実践について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第8回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり運動の理論と実際について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第9回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動障害と予防の基礎と実際について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第10回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体力測定と評価の基礎と活用について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第11回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】救急処置の基礎と実際について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第12回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動行動変容の理論と実際について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第13回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】こころの健康増進の基礎と運動指導について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第14回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】栄養摂取の基礎と運動指導について学びます。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						A、B
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を復習しておく。						L
テキスト		健康・体力づくり事業財団、『健康運動指導士養成講習会テキスト』						
参 考 書		プリントを使用する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足					30%	70%	
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ				授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		佐藤 至英							
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。具体的な免許・資格は、特別支援学校教諭である。							
	到達目標	(1)特別支援教育の意義と制度を理解する。 (2)障害のある子どもの生理・心理を理解する。 (3)障害のある子どもに必要な教育的対応を理解し、基本的な対応を実践できる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読してくる。						A	
	第2回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)学習指導要領の改訂の方向性・特別支援教育の新たな展開 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B	
	第3回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)海外の特別支援教育 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B	
	第4回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)特別支援教育と教員の専門性 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、H	
	第5回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)特別支援教育と教育課程 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、H	
	第6回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)特別支援教育の関係領域 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、H	
	第7回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)視覚障害の特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、J、L	
	第8回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)聴覚障害の特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、J、L	
	第9回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)知的障害の特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、J、L	
	第10回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)肢体不自由の特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、J、L	
	第11回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)病弱・身体虚弱の特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる						B、J、L	
	第12回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)軽度発達障害の特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、J、L	
	第13回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)ASDの特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、J、L	
	第14回	【テーマ】各資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特)LD・ADHDの特性と対応 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。						B、J、L	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。						L	
テキスト		特)時事通信出版局、2017年、『特別支援教育の完全攻略（2019年度版 専門教養 Build Up シリーズ）』、時事通信社、4788715627							
参 考 書		特)協同教育研究会、2017年、『北海道・札幌市の特別支援学校教諭過去問 2019年度版』、協同出版、4319277740							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足					30%	70%		
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他									

科 目 名			就業力特別演習Ⅱ		授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			吉田 修大					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。						
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】1年間の学習スケジュールや学習方法について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読すること						A
	第2回	【テーマ】過去問を学習する① 人体の構造と機能および疾病 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第3回	【テーマ】過去問を学習する② 心理学理論と心理的支援 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】過去問を学習する③ 社会理論と社会システム 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】過去問を学習する④ 現代社会と福祉 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第6回	【テーマ】過去問を学習する⑤ 地域福祉の理論と方法 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第7回	【テーマ】過去問を学習する⑥ 福祉行財政と福祉計画 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第8回	【テーマ】過去問を学習する⑦ 社会保障 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第9回	【テーマ】過去問を学習する⑧ 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】過去問を学習する⑨ 低所得者に対する支援と生活保護制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第11回	【テーマ】過去問を学習する⑩ 保健医療サービス 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第12回	【テーマ】過去問を学習する⑪ 権利擁護と成年後見制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第13回	【テーマ】過去問を学習する⑫ 社会調査の基礎 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第14回	【テーマ】過去問を学習する⑬ 相談援助の基盤と専門職 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
	第15回	【テーマ】過去問を学習する⑭ 相談援助の理論と方法 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【準備学習の内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。						A
テキスト		講義時に説明する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			30%		70%		
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格								
そ の 他		社会福祉士国家試験を受験する者は、必ず履修すること。						

科 目 名			就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			吉田 昌弘						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、アスレティックトレーナーの免許・資格について学び、資格取得に向けた実践力を養成する。							
	到達目標	(1)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な知識を修得する。 (2)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な技術を修得する。 (3)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得後に必要な実践力・応用力を修得する。							
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読してくること。							A
	第2回	【テーマ】AT の役割 【計画内容】AT の役割、資格取得の意義について学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト1巻の関連するページを精読してくる。							A、F、H
	第3回	【テーマ】AT に必要な解剖の知識 【計画内容】AT に必要な機能解剖学について学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト2巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第4回	【テーマ】AT に必要なスポーツ外傷・障害の知識 【計画内容】AT に必要なスポーツ外傷・障害について学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト3巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第5回	【テーマ】AT に必要なスポーツ内科の知識 【計画内容】AT に必要なスポーツ内科について学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト4巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第6回	【テーマ】AT に必要な評価・測定の知識 【計画内容】AT に必要な評価・測定について学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト5巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第7回	【テーマ】AT に必要なコンディショニングの知識 【計画内容】AT に必要なコンディショニングについて学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト6巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第8回	【テーマ】AT に必要なアスレティックリハビリテーションの知識 【計画内容】AT に必要なアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト7巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第9回	【テーマ】AT に必要な救急処置の知識 【計画内容】AT に必要な救急処置について学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト8巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第10回	【テーマ】AT に必要なスポーツ栄養の知識 【計画内容】AT に必要なスポーツ栄養について学ぶ。 【準備学習の内容】AT テキスト9巻の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第11回	【テーマ】AT に必要なスポーツバイオメカニクスの知識 【計画内容】AT に必要なスポーツバイオメカニクスについて学ぶ。 【準備学習の内容】テキストおよび参考書の関連するページを精読してくること。							A、F、H
	第12回	【テーマ】プレゼンテーション1 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【準備学習の内容】第11回までの内容を復習すること。							H、I、K
	第13回	【テーマ】プレゼンテーション2 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【準備学習の内容】第11回までの内容を復習すること。							H、I、K
	第14回	【テーマ】プレゼンテーション3 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションを行う。 【準備学習の内容】作成したプレゼンテーション資料を熟読すること。							F
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。							L
テキスト		講義時に説明する							
参 考 書		講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	30%		30%		40%			
	補 足								
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他									

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		渡部 峻						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。具体的な免許・資格は、保健体育科教諭である。						
	到達目標	(1)保健体育科教諭に必要な知識を修得する。 (2)教師として必要な資質や能力の向上を図る。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読してくること。						A
	第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】学習指導要領の改訂の方向性について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領を熟読しておくこと。						A
	第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高校の新学習指導要領(総則等)について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高校の新学習指導要領(特別活動等)について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】保健体育科及び体育・保健の目標について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						A
	第6回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(体づくり運動、器械運動)について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第7回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(陸上競技、水泳)について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第8回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(球技)について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第9回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(武道、ダンス)について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第10回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(体育理論)について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第11回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校の保健について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第12回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】高校の保健について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第13回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高校保健体育科の内容の取扱いについて学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第14回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高校保健体育科の指導計画の作成について学びます。 【準備学習の内容】新学習指導要領解説保健体育編を熟読しておくこと。						B
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。						A、L
テキスト		中学校はプリントを使用する						
参 考 書		文科省、2009年、『高等学校学習指導要領解説保健体育・体育編』、東山書房						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足					30%	70%	
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名			就業力特別演習Ⅲ		授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			小田 史郎					
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した資格について、より一層の理解を深め、他者に対して指導できる実践的応用力を身につけることを目指す。この授業では健康運動指導士の資格を対象とする。						
	到達目標	(1)健康運動指導士の資格取得に必要な知識を身につけ、他者に伝えられるようにする。 (2)健康運動指導士として活躍するための実践力を身につける。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス、健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(1) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第2回	【テーマ】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(2) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第3回	【テーマ】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(3) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第4回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(1) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第5回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(2) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第6回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(3) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第7回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(4) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第8回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(1) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第9回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(2) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第10回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(3) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第11回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(4) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第12回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(1) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第13回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(2) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第14回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(3) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B
	第15回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(4)、まとめと振り返り 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。さらにこれまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。						B、L
テキスト		健康・体力づくり事業財団、2017年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			70%		30%		
補 足								
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格		[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修						
そ の 他								

科 目 名		就業力特別演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		井出 幸二郎						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。具体的な免許・資格は、日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者資格である。						
	到達目標	(1)トレーニング指導者に必要な基礎的な知識を身につける。 (2)トレーニング指導者に必要な専門的な知識を身につけ、実践場面での応用力を身につける。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読してくる。					A	
	第2回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第3回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第4回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第5回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第6回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第7回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第8回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第9回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第10回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第11回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第12回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第13回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第14回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B	
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。					L	
テキスト		NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2017年、『トレーニング指導者テキスト 理論編・改訂版』 NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2014年、『トレーニング指導者テキスト 実践編・改訂版』 NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2017年、『JATI 認定トレーニング指導者 認定試験（一般・専門）模擬問題集 改訂版』						
参 考 書		プリントを配付する。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			70%		30%		
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格		[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修						
そ の 他								

科 目 名		就業力特別演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		岩本 希						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目に当たる。模擬問題集への取り組みを中心として社会福祉士国家資格取得のために必要な知識の修得、定着を図り、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。						
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を定着させる。 (2)模擬試験や問題集に取り組み、社会福祉士国家試験に合格できるよう準備する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】人体の構造と機能及び疾病 【計画内容】人体の構造と機能及び疾病についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第3回	【テーマ】心理学理論と心理的支援 【計画内容】心理学理論と心理的支援についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第4回	【テーマ】社会理論と社会システム 【計画内容】社会理論と社会システムについての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第5回	【テーマ】現代社会と福祉 【計画内容】現代社会と福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第6回	【テーマ】地域福祉の理論と方法 【計画内容】地域福祉の理論と方法についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第7回	【テーマ】福祉行財政と福祉計画 【計画内容】福祉行財政と福祉計画についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第8回	【テーマ】社会保障 【計画内容】社会保障についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第9回	【テーマ】障害者に対する支援と障害者自立支援 【計画内容】障害者に対する支援と障害者自立支援についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。						A、B
	第10回	【テーマ】模擬試験の復習 【計画内容】模擬試験問題を振り返り苦手科目を確認、受験勉強学習計画を作成します。 【準備学習の内容】模擬試験問題の解説を精読してくる。						A、B
	第11回	【テーマ】社会福祉士国家試験直前対策 【計画内容】受験の心構えや問題を解くテクニックについて説明します。 【準備学習の内容】これまで学習した内容、学習計画を確認しておく。						A、B
	第12回	【テーマ】学習計画に沿った学習① 【計画内容】苦手科目克服に向け、計画に沿って学習します。 【準備学習の内容】テキストや参考書、模擬問題集等の解説を精読してくる。						A、B
	第13回	【テーマ】学習計画に沿った学習② 【計画内容】苦手科目克服に向け、計画に沿って学習します。 【準備学習の内容】テキストや参考書、模擬問題集等の解説を精読してくる。						A、B
	第14回	【テーマ】国家試験直前の学習方法 【計画内容】国家試験当日までの学習方法を確認します。 【準備学習の内容】これまで学習した内容、学習計画を確認しておく。						A、B
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、国家試験当日に向けた学習計画を確認します。 【準備学習の内容】学習計画、社会福祉士国家試験受験の手引きを再確認しておく。						A、B
テキスト		講義時に説明します。						
参 考 書		講義時に説明します。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			30%		70%		
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格		[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修						
そ の 他		社会福祉士国家試験を受験する学生は、必ず履修すること。						

科 目 名		就業力特別演習Ⅲ		授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		佐藤 郁子					
授 業 の 目 的	ねらい	「健康福祉専門職演習Ⅰ・Ⅱ」での学習をさらに深め、テーマを決めて介護福祉士に必要な知識を集中的に学びます。模擬試験や過去問題の解答や自己学習を繰り返し行い、介護福祉士国家試験合格を目指します。					
	到達目標	(1)模擬試験や過去問題を行い、介護福祉士国家試験合格を目指す。 (2)介護福祉士国家試験科目に必要な知識を繰り返し復習し、身につけることができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、模擬試験の受験1 【計画内容】授業の進め方、国家試験のための準備について説明し、現在の学習状況を確認します。また、範囲科目の模擬試験(午前)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 介護福祉士関連の辞典、ワークブックなどを持参すること					A、B
	第2回	【テーマ】 模擬試験の受験2 【計画内容】 範囲科目の模擬試験(午後)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 試験範囲科目の予習をしておくこと					A、B
	第3回	【テーマ】 社会の理解1 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 社会の理解の予習をしておくこと					A、B
	第4回	【テーマ】 社会の理解2 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 社会の理解の予習をしておくこと					A、B
	第5回	【テーマ】 発達と老化の理解 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 発達と老化の理解の予習をしておくこと					A、B
	第6回	【テーマ】 こころとからだのしくみ1 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 こころとからだのしくみの予習をしておくこと					A、B
	第7回	【テーマ】 こころとからだのしくみ2 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 こころとからだのしくみの予習をしておくこと					A、B
	第8回	【テーマ】 障害の理解 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 障害の理解の予習をしておくこと					A、B
	第9回	【テーマ】 苦手科目の重点学習－社会の理解 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 社会の理解の予習・復習をしておくこと					A、B
	第10回	【テーマ】 苦手科目の重点学習－障害の理解 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 障害の理解の予習・復習をしておくこと					A、B
	第11回	【テーマ】 苦手科目の重点学習－こころとからだのしくみ 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 こころとからだのしくみの予習・復習をしておくこと					A、B
	第12回	【テーマ】 苦手科目の重点学習－老化と発達の理解 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 老化と発達の理解の予習・復習をしておくこと					A、B
	第13回	【テーマ】 苦手科目の重点学習－認知症の理解 【計画内容】 テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 認知症の理解の予習・復習をしておくこと					A、B
	第14回	【テーマ】 模擬試験の受験 【計画内容】 模擬試験を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】 模擬試験科目の予習・復習をしておくこと					A、B
	第15回	【テーマ】 総復習 【計画内容】 国家試験直前の総復習と準備を行います。 【準備学習の内容】 これまでの学習の復習をしておくこと					A、B
テキスト		講義時に説明します					
参 考 書		『介護福祉士国家試験合格テキスト』、中央法規 『介護福祉士国家試験過去問解説集』、中央法規					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足					30%	70%
質問への対応		初回講義時に説明します。					
資 格		[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修					
そ の 他		介護福祉士国家試験準備のための科目です。予習・復習などを積極的に取り組む姿勢を求めます。					

科 目 名		就業力特別演習Ⅲ		授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		畠山 孝子					
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。具体的な免許・資格は、ジュニアスポーツ指導員である。					
	到達目標	(1)ジュニアスポーツ指導員に必要な知識を理解する。 (2)ジュニアスポーツ指導員に必要な実践場面での応用力を身につける。 (3)スポーツクラブでの指導補助ができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読してくる。					A
	第2回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B
	第3回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B
	第4回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B
	第5回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					B
	第6回	【テーマ】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導① 【計画内容】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導上の留意事項を理解する。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					A
	第7回	【テーマ】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導② 【計画内容】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導上の留意事項を理解する。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					A
	第8回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					D
	第9回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					D
	第10回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					D
	第11回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					D
	第12回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					D
	第13回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					D
	第14回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。					D
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。					L
テキスト		日本体育協会、2017年、『公認ジュニアスポーツ指導員養成テキスト』					
参 考 書		講義時に説明する					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足			70%		30%	
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。					
資 格		[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修					
そ の 他							

科 目 名			就業力特別演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			吉田 真						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した日本体育協会公認アスレティックトレーナーについて、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。							
	到達目標	(1)アスレティックトレーナー(AT)の専門性を説明できる。 (2)ATに必要なスポーツ医学の知識をもとに、実践場面での応用方法を理解し説明できる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読してくる。							A
	第2回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第3回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第4回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第5回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第6回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第7回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第8回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第9回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第10回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第11回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第12回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第13回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第14回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【準備学習の内容】テキストの関連するページを精読してくる。							B
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【準備学習の内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。							L
テキスト		『AT 専門科目テキスト1～9巻』							
参 考 書		講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分補足			70%		30%			
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。							
資 格		[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修							
そ の 他		履修希望者は、AT 理論試験を受験すること。							

スポーツ教育学科 学 科 専 門 科 目

科 目 名		スポーツ施設管理論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		水野 信太郎					
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保しているべき環境条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面、専門家の資格などについて学ぶ。また施設・建築物の平面図を読み解く力を身につける。具体的には身の回りに実在する建築物を実測して提出する。					
	到達目標	(1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する専門用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)実際の建築物を調査して図面化することにより、図を読む力をつける。 (4)「体育施設運営士」ならびに「体育施設管理士」の資格を理解する。 (5)都市施設を中心とする今後の「まちづくり」への関心を高める。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】都市施設の平面図を作成する 【計画内容】教員が用意した文章を聞きながら、配付された用紙に平面図(プラン・間取り)を作成していく。入口から施設内に入り、順に各室を進んでいく。この作業によって平面図を表記する記号や約束事を身につける。完成した平面図を教室内で発表する。 【準備学習の内容】シラバス全体を熟読しておく。					K、F
	第2回	【テーマ】さまざまな生涯スポーツ施設と生涯学習施設 【計画内容】さまざまなスポーツ施設を学生自ら列挙する。そのうえで公共施設の社会的意義を論ずる。競技スポーツと芸術表現を対比して、共通点と相違点などを明らかにする。大スパン構造を理解し、説明する。 【準備学習の内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。					A、H
	第3回	【テーマ】施設の平面図採集 【計画内容】4月末から5月上旬の連休中に学生自身が赴く場所で、実在する建築物の現状平面図を作成して次回の授業で提出する。その作業のために必要な知識と手順を講義する。 【準備学習の内容】4月28日(土)から5月6日(日)までの連休中に出かける地域に関する情報を収集しておくこと。					A
	第4回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程。その際に施設管理者が果たすべき役割を明らかにする。雨もり、水もれ、金属部分のさび、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えを学習する。 【準備学習の内容】新築、増築、改築について予習してくること。またメンテナンスフリーという考え方を調べておくこと。					G、H
	第5回	【テーマ】通風と換気 【計画内容】良好な風通しの条件、換気回数の定義などを具体的に調べていく。 【準備学習の内容】換気原則と換気回数の定義を調べてくること。					A
	第6回	【テーマ】温熱環境 【計画内容】温度、湿度、気流、輻射熱、着衣、運動量の差によって寒暖の感じ方が異なる点を理解する。 【準備学習の内容】暑さと寒さを人間が感じるさまざまな要素について情報を整理しておく。					F、H
	第7回	【テーマ】結露とカビ 【計画内容】結露とはどのような現象か、カビが発生する諸条件などをトータルに学ぶ。 【準備学習の内容】日常生活で結露やカビに関する実体験を整理してくる。また対応策を自ら調べること。					A
	第8回	【テーマ】空気調和 【計画内容】冬季の暖房、夏季の冷房、梅雨時期の除湿ほか空調の実情を理解する。換気、温熱環境、結露、空調という4週間分の授業内容をレポートライティングして提出する。 【準備学習の内容】4週間分の授業内容を整理しておき、レポートライティングに備える。					G
	第9回	【テーマ】自然採光と人工照明 【計画内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取扱方法、グレア、色調ほかについて学習する。 【準備学習の内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取扱方法、グレアに関する予習をしておくこと。					A
	第10回	【テーマ】給排水衛生設備と給湯システム 【計画内容】上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源についてグループで話し合う。その結果を教室で発表する。とりわけ未来のエネルギー源に関する積極的な展望を期待する。 【準備学習の内容】事前に上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源について自己の立場を整理してくる。					F、H
	第11回	【テーマ】放送設備・昇降設備・防災設備と避難誘導 【計画内容】放送と音響環境、エレベーターとエスカレーター、火災報知機とスプリンクラー、ドレンチャーなどの消火設備、避難設備と2方向避難等を説明。危機管理対策を意識する。 【準備学習の内容】防災設備、避難設備などについて調べてくること。					A
	第12回	【テーマ】安全な施設運営と効率的な経営 【計画内容】スポーツ施設運営のソフト面を講義する。この点もより大きく施設管理者には求められる。 【準備学習の内容】施設運営に関わる諸問題を調査して、授業時間内でワークシートを完成することができるよう準備する。					J、K
	第13回	【テーマ】体育施設運営士について 【計画内容】管理のソフト面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して学習・討論する。 【準備学習の内容】日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して調べておくこと。					I
	第14回	【テーマ】体育施設管理士について 【計画内容】管理のハード面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設管理士に関して学習・討論する。 【準備学習の内容】日本体育施設協会公認の体育施設管理士に関して調査してくる。					I
	第15回	【テーマ】まとめ・スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において望まれる施設運営の姿を探る。受講者諸君の意見をまとめる。 【準備学習の内容】15回分の講義のまとめとしてレポートを提出できるように準備する。					G、L
テキスト		講義時に説明します					
参 考 書		講義時に提示します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	30%		20%	30%	20%	
	補 足						
質問への対応		随時その都度、直接対応します。					
資 格		[ス] JATI 認定トレーニング指導者 _ 必修					
そ の 他		届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が極めて困難となります。					

科 目 名	スポーツ情報処理			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	山本 敬三						
授 業 の 目 的	ねらい	基礎統計学をもとに、データに対して統計処理を施し客観的な分析を行う為の手法を学ぶ。スポーツ現場のデータを登用することで、統計処理そのものの理解と、処理によって得られた結果の分析力を深める。統計処理の手法として、統計ソフトウェアあるいはツールを用い、その使用法を習得する。ここでは、統計学の考え方を理解し、統計処理ツールを意図を持って使えるようになる事をねらいとする。					
	到達目標	(1)データの統計処理を状況に応じて行えるようになる。 (2)グラフ化等、視覚化の処理では細部まで理解をする。 (3)統計学を理解し、客観的な統計処理判定をできるようにする。 (4)実データに対し、統計的考察を行えるようになる。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス 【計画内容】 シラバス、授業評価について説明する。『統計学』とは何か、そして統計処理演習として目指すところを説明する。 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A
	第2回	【テーマ】 記述統計学(表とグラフ) 【計画内容】 統計量や表を用いて大まかな特徴を掴むのが記述統計学である。記述統計学の中の表とグラフ、特に度数分布表とヒストグラムについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第3回	【テーマ】 記述統計学(統計量) 【計画内容】 統計量として、平均、分散、標準偏差の意味と算出方法を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第4回	【テーマ】 課題(記述統計学) 【計画内容】 課題の題材をテーマとして、記述統計学によって掴めるデータの特徴を考察する。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第5回	【テーマ】 関係の強さを測る 【計画内容】 2つの変量の相互の関わりについて学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第6回	【テーマ】 課題(相関分析) 【計画内容】 相互の関わりを統計処理する手法として、散布図の作成、共分散と相関係数の算出等を課題を通して考察する。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第7回	【テーマ】 推測統計学 【計画内容】 推測統計学では、限られた情報から結果の有効性を客観的に判断していく。また、データの分布として、正規分布について習得を目指す。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第8回	【テーマ】 z 検定 【計画内容】 推測統計の代表として、検定について学ぶ。ここでは、平均を比較する手段の一つとして z 検定について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第9回	【テーマ】 t 検定 【計画内容】 標本数が少ない場合、母分散が不明の場合に用いられる t 検定について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第10回	【テーマ】 t 検定 - タイプ1- 【計画内容】 母分散は不明であるが、2標本のそれぞれの母分散が等しいと考えられる場合を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第11回	【テーマ】 t 検定 - タイプ2- 【計画内容】 母分散が不明で、2標本の母分散も等しいとは言えない場合の t 検定について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第12回	【テーマ】 F 検定 【計画内容】 2標本の等分散性を判定する F 検定について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第13回	【テーマ】 t 検定 - タイプ3- 【計画内容】 2つのデータに対応のある場合の t 検定を学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第14回	【テーマ】 課題(t 検定 - タイプ1、2、3-) 【計画内容】 t 検定のタイプ1、2、3についての課題を行う。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
	第15回	【テーマ】 分散分析 【計画内容】 分散分析について、検定の手順について学ぶ。 【準備学習の内容】 配付するプリントを熟読しておくこと。					A、B
テキスト	山本澄子、2012年、『すぐできるリハビリテーション統計』、南江堂						
参 考 書	鳥居泰彦、1994年、『はじめての統計学』、日本経済新聞出版社、9784532130749 東京大学教養学部統計学教室、1991年、『統計学入門』、東京大学出版会、9784130420655 石村貞夫・石村光資郎、2008年、『入門はじめての分散分析と多重比較』、東京図書、9784489020292						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	50%		50%			
	補 足			レポート			
質問への対応	初回講義時に具体的に説明をします。						
資 格	[ス] JATI 認定トレーニング指導者 _ 選必						
そ の 他	PC 操作や Excel 等の表計算ソフトに慣れていることが望ましい。第16回に最終評価の為のテストを行います。						

科 目 名		運動処方演習			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		上田 知行、沖田 孝一、小坂井 留美						
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動を指導するのに必要な実践力を磨くには、①安全で効果的な運動処方作成のために必要な運動負荷試験の実際や、②生活習慣病の予防や改善に関わる集団と個別に対応するための運動処方作成の方法、③介護予防に関わる集団と個別に対応するための運動処方の方法を実践形式で学び、それぞれの集団および個人に適した運動プログラムを処方する能力を身につける。						
	到達目標	(1)運動負荷試験の方法を学ぶ。 (2)生活習慣病の予防や改善に関わる運動処方作成の方法を身につける。 (3)介護予防に関わる運動処方作成の方法を身につける。						
	第1回	【テーマ】 ガイダンス・運動処方作成のために必要な行動目標 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(上田知行) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
授 業 の 計 画	第2回	【テーマ】 身体活動量の把握と運動処方 【計画内容】 身体活動量を把握する方法と運動処方の作成方法について学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 運動処方の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第3回	【テーマ】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方 【計画内容】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 転倒予防に必要な体力要素について復習しておくこと。						B
	第4回	【テーマ】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方 【計画内容】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方のプログラミングについて学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 行動変容理論の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第5回	【テーマ】 変形性関節症のための運動処方 【計画内容】 変形性関節症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(下肢)の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第6回	【テーマ】 腰痛症のための運動処方 【計画内容】 腰痛症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(腰部)の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第7回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅰ(肥満症) 【計画内容】 生活習慣病のうち肥満症に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 肥満症について理解を深めておくこと。						B
	第8回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅱ(高血圧症) 【計画内容】 生活習慣病のうち高血圧症に対する運動処方の方法を学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 高血圧症について理解を深めておくこと。						B
	第9回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅲ(糖尿病) 【計画内容】 生活習慣病のうち糖尿病に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 糖尿病について理解を深めておくこと。						B
	第10回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅳ(虚血性心疾患) 【計画内容】 生活習慣病のうち虚血性心疾患に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 虚血性疾患について理解を深めておくこと。						B
	第11回	【テーマ】 運動負荷試験の実際 【計画内容】 運動負荷試験の方法について学びます。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						B
	第12回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅰ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
	第13回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅱ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
	第14回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅲ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
	第15回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅳ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
	テキスト		プリントを配付します					
参 考 書		『健康運動指導士テキスト』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	30%		40%		30%		
	補 足							
質問への対応		講義時に説明します。						
資 格		[ス]健康運動指導士_必修						
そ の 他		「運動生理学」「運動処方論」「中高年スポーツ論」を履修していること。 本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科目名	スポーツマーケティング				授業形態	講義	単位数	2
教員名	永谷 稔							
授業の目的	ねらい	本講義では、マーケティングの基礎を学び、スポーツにおけるマーケティングの基礎的な考え方と重要性を考える。スポーツのマーケティングは現在、プロスポーツから民間スポーツや公共スポーツ、地域スポーツや学校体育など多岐にわたる場面で必要となっている。有形商品のほか無形商品であるサービスなどのマーケティングについて、スポーツマーケットの実態や戦略方法を学び、最終的にはスポーツマーケティングの実践者になるべく、知識や能力を蓄えたい。						
	到達目標	(1)マーケティングの基本を理解する。 (2)スポーツにおけるマーケティングを理解する。 (3)スポーツマーケットの実態や戦略方法を理解する。						
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の内容を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】スポーツマーケティングとは 【計画内容】スポーツの産業規模や成長の概要について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A
	第3回	【テーマ】スポーツマーケティングの理論 【計画内容】スポーツマーケティングの理論として、基本的な考え方や捉え方について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】スポーツマーケットの実態 【計画内容】スポーツビジネスの場となるマーケットの実態について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第5回	【テーマ】スポーツビジネス産業 【計画内容】スポーツビジネス産業の規模や成長発展について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第6回	【テーマ】スポーツビジネスにおけるセグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング 【計画内容】セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングの目的や意味について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第7回	【テーマ】スポーツにおけるマーケティング・ミックス 【計画内容】スポーツにおけるマーケティング・ミックス戦略について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第8回	【テーマ】商品としてのスポーツ 【計画内容】スポーツを商品としてとらえることについて。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第9回	【テーマ】スポーツ産業における製品 【計画内容】スポーツ産業における製品の定義、分類などについて。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第10回	【テーマ】スポーツ産業における価格戦略 【計画内容】スポーツ産業における価格および価格の決定、4Cについて。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第11回	【テーマ】スポーツ産業におけるマーケティング・チャネル 【計画内容】スポーツ産業におけるマーケティング・チャネルおよび流通について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第12回	【テーマ】スポーツマーケティング報告① 【計画内容】これまでの学習内容や調査検討からグループごとのプレゼンテーション発表を行う。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						F、H、I、K
	第13回	【テーマ】スポーツマーケティング報告② 【計画内容】これまでの学習内容や調査検討からグループごとのプレゼンテーション発表を行う。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						F、H、I、K
	第14回	【テーマ】スポーツビジネスの将来 【計画内容】スポーツビジネスの将来像および展望について。 【準備学習の内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。						A、J、K
	第15回	【テーマ】講義のまとめ 【計画内容】レポート課題確認や講義のまとめ、ふりかえりを実施する。 【準備学習の内容】本講義をふりかえり、講義プリントなどから重要ポイントを理解しておくこと。						A、G、K
テキスト	プリントや資料を配付します							
参考書	木内明ほか、2004年、『体育学への探求』、ティプロ、4990167503 B・G・ピッツ、D・K・ストットラー編著、2006年、『スポーツ・マーケティングの基礎』、白桃書房、4561641580 原田宗彦編著、2008年、『スポーツマーケティング』、大修館書店、9784469266597							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			50%		50%		
質問への対応	オフィスアワー：952研究室							
資格								
その他	スポーツのマーケットやビジネスに興味・関心があり、将来こうした進路を目指す学生の履修を望みます。レポートやグループワーク、プレゼンテーションを実施しながら、より実践的な能力向上を期待します。							

科 目 名		生涯スポーツ(障がい者スポーツ)			授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		阿部 達彦、齊藤 雄大						
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツの取り組みは、我々の生活を支えるものであり、特に余暇活動の充実においても重要な役割を果たしている。本講義では、実際に障がいのある人たちが取り組んでいる様々な障がい者スポーツを実技体験することで、障がい者スポーツの楽しさを知り、障がいのある人の現在及び将来の生活の充実のためにスポーツが果たす役割や、競技を行う上での配慮事項について理解することをねらいとする。						
	到達目標	(1)視覚障がい者や肢体不自由者の街中での疑似体験活動を通して、障がいのある人に対する必要な支援の方策や課題について理解する。 (2)障がい者スポーツの実技体験を通して、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて理解する。 (3)近隣の小学校等へのスポーツボランティア等を行いながら、障がい者スポーツへの理解と啓発を行う。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。全体での指導やグループ別の指導で行うことから、計画や概要について十分理解を図ります。(全教員) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、E	
	第2回	【テーマ】 視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施① 【計画内容】 車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がいの者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。(全教員) 【準備学習の内容】 「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E	
	第3回	【テーマ】 視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施② 【計画内容】 車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がいの者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。(全教員) 【準備学習の内容】 「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E	
	第4回	【テーマ】 屋外での車椅子走(ショートレース) 【計画内容】 大学構内で実際に車椅子走のショートレース(タイムトライアル)を行います。(全教員) 【準備学習の内容】 「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E	
	第5回	【テーマ】 視覚障がい者走の体験 【計画内容】 2人1組になり、1人がアイマスクを着用し、実際に大学構内で視覚障がい者中距離走のタイムトライアルを行います。(全教員) 【準備学習の内容】 視覚障がいの者の特徴を理解し把握しておくこと。					E	
	第6回	【テーマ】 重度障がい者のスポーツ ポッチャ① 【計画内容】 車椅子に乗って実際に介助者の支援を受け、ランプ(補助具)等を用いながらパラリンピック種目の競技ポッチャを体験します。(全教員) 【準備学習の内容】 重度の肢体不自由者の特徴について、理解し把握しておくこと。					E	
	第7回	【テーマ】 重度障がい者のスポーツ ポッチャ② 【計画内容】 車椅子に乗って実際に介助者の支援を受け、ランプ(補助具)等を用いながらパラリンピック種目の競技ポッチャを体験します。(全教員) 【準備学習の内容】 重度の肢体不自由者の特徴について、復習しておくこと。					E	
	第8回	【テーマ】 車椅子バスケットボール① 【計画内容】 パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの基礎(車椅子操作・ボール操作・パス・シュート)を体験します。(全教員) 【準備学習の内容】 車椅子に乗った状態でゴール型スポーツの基礎を体験します。					E	
	第9回	【テーマ】 車椅子バスケットボール② 【計画内容】 パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E	
	第10回	【テーマ】 車椅子バスケットボール③ 【計画内容】 パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E	
	第11回	【テーマ】 車椅子ソフトボール① 【計画内容】 車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの基礎(キャッチボール・バッティング・ルール等)を体験します。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E	
	第12回	【テーマ】 車椅子ソフトボール② 【計画内容】 車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E	
	第13回	【テーマ】 車椅子ソフトボール③ 【計画内容】 車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。(全教員) 【準備学習の内容】 前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E	
	第14回	【テーマ】 パラリンピックや特別支援学校体育における肢体不自由者及び視覚障がい者のスポーツ 【計画内容】 その他の肢体不自由者のスポーツ(フリスビー・シットینگバレー・カーリング、風船バレー)や視覚障がい者のスポーツ(ブラインドサッカー・フロアバレー・ゴールボール等)について理解します。(全教員) 【準備学習の内容】 「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E	
	第15回	【テーマ】 肢体不自由者のスポーツ、重複障がい者のスポーツ、視覚障がい者のスポーツ等の振り返りとまとめ 【計画内容】 車椅子バスケット、車椅子ソフトボール、ポッチャ等の実技を振り返り、まとめを行います。(全教員) 【準備学習の内容】 これまで実施した実技内容と「障がい者スポーツ論」の該当箇所を復習しておくこと。					A、E	
テキスト		プリントを使用する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		50%		
質問への対応		初回講義時に授業内容等について具体的に説明します。						
資 格		[ス] [健]障がい者スポーツ指導員_必修						
そ の 他		以下の学生の受講が望ましい。 運動指導に関する進路を考えている学生、及び特別支援学校の教員を目指している学生。前年度に「障がい者スポーツ論」の単位を修得し「障がい者スポーツ指導員(初級)」の資格を取得する予定の学生。						

科 目 名		専門演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	「専門演習Ⅰ・Ⅱ」で学んだ生涯スポーツならびにスポーツ教育に関連する専門分野において個人またはグループで問題提起した課題について取り上げ、その課題解決に向けてその研究室等においてゼミナール形式によって授業を展開していきます。そして、後学期の「卒業研究」へとつなげていきます。						
	到達目標	(1)専門の学問領域での課題を設定し、解決することができる。 (2)「卒業研究」へと発展させることができる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第1回 前学期オリエンテーション							A
	第2・3回 課題設定							A、G、H、J、K
	第4-7回 実験、調査、文献研究など							A、C、G、H、J、K、M、N
	第8-13回 課題をまとめる							A、G、H、J、K
	第14回 課題の発表							A、F、G、I
	第15回 ふりかえりおよび卒業研究に向けての準備							A、G、L
	【準備学習の内容】 (授業の振り返り)各自のレポート作成・発表資料作成 (その他)個別ゼミにおいて説明							
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		ゼミの時に指示をします						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
	補 足			レポート・発表資料		平時		
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		卒業研究			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	本科目の目的は、生涯スポーツおよびスポーツ教育に関する学問分野の専門性を高めることを目的として、研究活動に取り組みます。同時に、テーマの設定、そのテーマに関する先行資料の調査、課題の洗い出し、そしてそれらの解決策の探求を通じて、実践的な課題解決能力を養います。						
	到達目標	(1)各自で取り組んだ研究を論文形式またはそれと同レベルの形にまとめる。 (2)研究結果を発表する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】							
	第1回 担当教員によるオリエンテーション(全教員)							A
	第2回 以降、展開方法は、担当教員が指示する(全教員)							A
	第3回 卒業研究の進め方1: テーマ、研究方法、結果処理、考察、まとめについて(全教員)							A
	第4回 卒業研究の進め方2: テーマ、研究方法、統計処理法(全教員)							A
	第5回 調査および測定の方法について(全教員)							A、B、C、H
	第6回 調査および測定の方法について(全教員)							A、B、C、H
	第7回 調査および測定の方法について(全教員)							A、B、C、H
	第8回 結果処理、考察について(全教員)							A、G、J
	第9回 結果処理、考察について(全教員)							A、G、J
	第10回 卒業研究のまとめ方(全教員)							A、G、J
	第11回 卒業研究のまとめ方(全教員)							A、G、J
	第12回 プレゼンテーションの方法(全教員)							A、F
	第13回 プレゼンテーションの方法(全教員)							A、F
	第14回 卒業研究の発表練習会(全教員)							A、F、L
	第15回 卒業研究発表会(全教員)							F
		【準備学習の内容】 研究に関わる講義の復習をしておくこと。						
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		ゼミの時に指示をします						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			30%		30%	40%	
	補 足			卒業論文提出		平時	卒業研究発表会	
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		知的障害教育Ⅱ			授業形態	講義	単 位 数	2	
教 員 名		瀧澤 聡							
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援教育では、実態把握と学習指導要領(自立活動を含む)をふまえながら、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」が立案され、授業が展開されています。本講義では、実態把握の方法と学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深めながら、特別支援学校(知的障がい)で指導されている授業指導案の立案、演習を行います。							
	到達目標	(1)実態把握のための心理検査の実施方法を習得する。 (2)特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深める。 (3)「個別の指導計画」の内容の理解を目指す。 (4)指導の形態に応じた、指導案の作成を目指す。							
	第1回	【テーマ】心理検査1 S-M 社会生活能力検査 【計画内容】「S-M 社会生活能力検査」などについて学ぶ。 【準備学習の内容】 ソーシャルスキルとの関連を予習すること。					A、J、L		
	第2回	【テーマ】心理検査2 絵画語い発達検査 【計画内容】「絵画語い発達検査」などについて学ぶ。 【準備学習の内容】「絵画語い発達検査」について予習すること。					A、J、L		
授 業 の 画 計	第3回	【テーマ】心理検査3 視知覚検査 【計画内容】「視知覚検査」などについて学ぶ。 【準備学習の内容】「視知覚検査」を予習すること。					A、J、L		
	第4回	【テーマ】特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解の深化 【計画内容】 特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の内容の理解を深める。 【準備学習の内容】 他の発達検査についても学習しておくこと。					A、L		
	第5回	【テーマ】「教科教育」1 展開 【計画内容】「教科教育」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【準備学習の内容】「教科教育」について予習すること。					A、L		
	第6回	【テーマ】「教科教育」2 指導略案の作成 【計画内容】「教科教育」の指導略案を作成する。 【準備学習の内容】 指導案の略案を作成しておくこと。					A、J、L		
	第7回	【テーマ】「教科教育」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、L、N		
	第8回	【テーマ】「生活単元学習」1 展開 【計画内容】「生活単元学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【準備学習の内容】「生活単元学習」について予習すること。					A、L		
	第9回	【テーマ】「生活単元学習」2 指導略案の作成 【計画内容】「生活単元学習」の指導略案を作成する。 【準備学習の内容】「生活単元学習」について略案を作成しておくこと。					A、J、L		
	第10回	【テーマ】「作業学習」1 展開 【計画内容】「作業学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【準備学習の内容】「作業学習」について予習すること。					A、L		
	第11回	【テーマ】「作業学習」2 指導略案の作成 【計画内容】「作業学習」の指導略案を作成する。 【準備学習の内容】「作業学習」について略案を作成しておくこと。					A、J、L		
	第12回	【テーマ】「遊びの指導」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、J、L		
	第13回	【テーマ】「作業学習」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、J、L		
	第14回	【テーマ】「生活単元学習」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【準備学習の内容】「指導案」を熟読しておくこと。					A、J、L		
	第15回	【テーマ】「個別の指導計画」の理解 【計画内容】 個別の指導計画の案を完成する。 【準備学習の内容】「個別的教育支援計画」との関連を予習すること。					A、J、L		
	テキスト		文部科学省、2009年、『特別支援学校：幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領』、海文堂、430312432						
	参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足	30%		50%		20%			
質問への対応		講義の最初に説明する。							
資 格		[ス] [教]特支1種_必修							
そ の 他									

科 目 名		肢体不自由教育Ⅱ		授業形態	講義	単 位 数	2	
教 員 名		石川 大						
授 業 の 目 的	ねらい	日本の肢体不自由教育史について理解し、肢体不自由のある幼児、児童生徒に対する教育について、指導内容・方法の基礎的・応用的な理論と先駆的な指導実践の中から理解を深める。また、特別支援学校(肢体不自由)の教育課程と特に自立活動の指導における6区分の内容と指導について学ぶ。更に、摂食指導や医療的ケアといった日常の健康維持・向上や生命の維持に不可欠な内容について理解を深める。						
	到達目標	(1)日本の肢体不自由教育史について、その歴史的発展と展望、現状と課題について学ぶ。 (2)特別支援学校(肢体不自由)における教育課程の編成・内容について理解する。 (3)肢体不自由教育における自立活動の具体的な指導内容・方法について理解を深める。 (4)肢体不自由教育における摂食指導や医療的ケアについて理解する。 (5)肢体不自由教育における感覚運動アセスメントとその実際の指導について学ぶ。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンスについて 【計画内容】15回の講義内容について説明します。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。					A、F	
	第2回	【テーマ】日本の肢体不自由教育史について 【計画内容】我が国の肢体不自由教育史について、その歴史と展望、現状と課題について学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、F	
	第3回	【テーマ】肢体不自由のある児童生徒の障害認識とアセスメント 【計画内容】肢体不自由教育における児童生徒の障害について、ICFの理念に基づく障害者観を理解するとともに、各種のアセスメントに関する方法・内容について学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第4回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について 【計画内容】肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について理解します。特に、ICF(国際生活機能分類)の活用について、その実践成果も学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第5回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導1～「健康の保持」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「健康の保持」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第6回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導2～「心理的な安定」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「心理的な安定」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第7回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導3～「人間関係の形成」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「人間関係の形成」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第8回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導4～「環境の把握」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「環境の把握」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第9回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導5～「身体の動き」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「身体の動き」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第10回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導6～「コミュニケーション」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「コミュニケーション」に関して深く学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第11回	【テーマ】肢体不自由教育における教科の学習について 【計画内容】肢体不自由教育における障害特性と教科の学習について理解し、どのような指導方法・内容が必要かを学びます。特に、発達障害における学習障害(LD)との関連と指導方法・内容について理解を深めます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第12回	【テーマ】摂食機能の障害と摂食指導の実践について 【計画内容】摂食機能の障害と摂食指導の実践について学びます。特に、障害の重度・重複化に伴う摂食障害について、本道の実態と取り組みについて理解を深めます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、B、 F、K	
	第13回	【テーマ】学校で行う医療的ケアの意義と内容について 【計画内容】学校で行う医療的ケアの意義と内容について、訪問教育における医療的ケアの事例などから、実施のための基礎的知識を学びます。また、医療機関や医療専門職員との連携・協力についても理解を深めます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、F	
	第14回	【テーマ】特別支援学校(肢体不自由)における医療的ケアの必要な幼児、児童生徒への対応の実際 【計画内容】医療的ケアの必要な幼児、児童生徒への対応の実際について学びます。具体的な指導事例などから指導方法・内容の応用的な理解を深めます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、F	
	第15回	【テーマ】ICFの理念に基づく特別支援教育のセンター的役割 【計画内容】ICFの理念に基づく障害者の理解を深め、肢体不自由特別支援学校のセンター的機能の役割について理解します。また、本道における地域支援ネットワークとその機能・役割、連携のあり方についても学びます。 【準備学習の内容】講義内容について予習しておくこと。					A、F、K	
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		村田茂、1979年、『新版日本の肢体不自由教育』、慶応義塾大学出版会、4766406575 全国肢体不自由養護学校長会、2005年、『新たな肢体不自由教育実践講座』、ジアース教育新社、4921124474 飯野順子、2006年、『生命の輝く教育を目指して』、ジアース教育新社、4921124612 文部科学省、『特別支援学校教育要領・学習指導要領』						
成績評価の方法			筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%		30%		20%	
	補足							
質問への対応		講義時や研究室で随時対応します。						
資 格		[ス][教]特支1種_必修						
そ の 他								

科 目 名	特別支援教育実習事後指導				授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名	阿部 達彦、瀧澤 聡							
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援学校における教育実習を終えて、実習報告会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。教師としての資質向上に向けて、教育実習の自己評価をするとともに、より意欲的に取り組む態度を身につける。						
	到達目標	(1)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。 (2)特別支援学校での教育実習を振り返り、自己評価することができる。 (3)特別支援学校の教師としての資質や能力を身につけることができる。						
授 業 の 画 面	【計画内容】 1 オリエンテーション (1) 特別支援学校で行った教育実習の成果や課題を整理する。 (2) 教育実習で学んだことについてのまとめや自己評価を行う。 2 教育実習報告会の実施 (1) 教育実習報告会を開催する。 (2) 教育実習報告会へ参加する。 (3) 報告会に参加し、感想等のレポートを提出する。 (4) 報告会での報告内容を聞き、自分の実習内容と比較しながら自己評価する。 3 教育実習終了後のまとめ (1) 教育実習で学んだことについてグループに分けて振り返りを行う。 (2) 振り返りの内容に関してグループごとに発表し合う。 (3) 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題を整理する。 (4) 実習校へお礼状を送付する。 【準備学習の内容】 教育実習を終えての具体的な自己課題を持つこと。							A
								D
								H
テキスト	プリントを配付します							
参 考 書	文部科学省、2009年、『特別支援学校幼稚部教育要領』 文部科学省、2009年、『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』 文部科学省、2009年、『特別支援学校高等部学習指導要領』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		30%	20%	
	補 足			レポート、グループワーク		実習への意欲	実習校の評価	
質問への対応	オリエンテーション等で具体的に説明します。							
資 格	[ス]特支1種_必修							
そ の 他	特別支援学校で行った教育実習の成果や課題について整理する。 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題について整理する。 今後、教職に進むに当たり課題を解決するための見通しを持てるようにする。							

科 目 名	特別支援教育実習				授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名	阿部 達彦、瀧澤 聡							
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援学校において、学校経営の方法、学校評価の方法、保護者との連携、児童生徒の安全、地域における特別支援教育のセンター的機能の実際等を理解する。 次に、各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の観察を行い、その後に学習指導案を作成し、実際の授業を行う。また、学級経営の基礎や生徒指導についても理解を深める。 実習終了後、反省会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。						
	到達目標	(1)実習校の教育活動を理解することができる。 (2)生徒理解を通じた学級活動の指導ができる。 (3)教科指導等の授業を指導することができる。 (4)実習前に実習先についての学びを深めるとともに、実習の心得を養う。 (5)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 法令や実習学校により定められた期間中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行う。 1 実習校の教育活動の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の勤務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の指導内容・方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談について 2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の時間の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解を通じた学級活動の実習 3 教職の理解 (1)教職への自己の適性判断 (2)教職の使命感・責任感の醸成 4 実習後のまとめ (1)実習後の実習校へお礼状を送る (2)実習報告レポートを作成する (3)実習報告会へ参加する 【準備学習の内容】 『教育実習の手引き』を熟読すること。							A
								D
								D
								B
テキスト	プリントを配付します							
参 考 書	文部科学省、2009年、『特別支援学校幼稚部教育要領』 文部科学省、2009年、『特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』 文部科学省、2009年、『特別支援学校高等部学習指導要領』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			10% 実習日誌		20% 実習への意欲	70% 実習校における評価	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格	[ス]特支1種_必修							
そ の 他	前年度までに定められている科目を修得している必要があること。 教職センター主催の教育実習の事前オリエンテーションには、必ず出席するとともに、教育実習校の事前打ち合わせにも必ず出席すること。また、『教育実習の手引き』の「実習生の心得」と「注意事項」は、厳守すること。							

科目名	スポーツ教育学				授業形態	講義	単位数	2
教員名	竹田 唯史							
授業の目的	ねらい	スポーツ指導者の役割や心構えを理解し、各種のスポーツを指導するための具体的な指導方法論を学習します。スポーツを指導する際の留意点や、運動観察・評価の方法を理解し、スポーツ指導計画の立案、評価や安全管理の方法について学びます。						
	到達目標	(1)スポーツの技術指導の流れと留意点を理解できる。 (2)運動の質的分析の観点を理解できる。 (3)スポーツの指導方法を作成するための理論を理解し、指導計画を立案できる。						
授業計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の目標と各講義の内容について理解する。スポーツ指導の意義について理解する。これまでに指導を受けた指導者の指導について振り返る。 【準備学習の内容】シラバスを精読してくる。						A
	第2回	【テーマ】スポーツ指導の目的 【計画内容】対象者の年齢、性別、体力、目的に対応した指導を行うということを理解し、指導者の役割は実施者のための支援にあることを理解する。 【準備学習の内容】これまで自分が受けたスポーツ指導についてふり振り返りを行ってくる。						A、H
	第3回	【テーマ】指導者の役割① 【計画内容】指導者の必要性と役割、指導者に求められる能力や知識について学ぶ。スポーツ医学に関する知識の必要性を理解する。 【準備学習の内容】スポーツ指導者の役割について考えてくる。						A、H
	第4回	【テーマ】指導者の役割② 【計画内容】指導者の心構えについて学ぶ。コミュニケーション能力や医学スタッフとの連携の重要性について理解する。 【準備学習の内容】スポーツ指導者に必要な知識、能力は何かを考えてくる。						A、H
	第5回	【テーマ】指導者の役割③ 【計画内容】競技者育成プログラムの理念、ジュニア期からの一貫指導の重要性や指導者間の連携、ネットワークの重要性を理解する。 【準備学習の内容】ジュニア期からの効果的な指導や課題は何かを考えてくる。						A、H
	第6回	【テーマ】運動観察・分析の方法① 【計画内容】スポーツ運動学に基づく、運動分析・観察の方法と視点を学習する。運動構造(局面構造、運動リズム)について理解する。 【準備学習の内容】参考図書を精読してくる。						A、H
	第7回	【テーマ】運動観察・分析の方法② 【計画内容】運動における緊張と解緊張を表す運動リズムについて理解する。スポーツにおけるリラクスの意義を理解し、循環運動、非循環運動における力の変動について理解する。 【準備学習の内容】参考図書を精読してくる。						A、H
	第8回	【テーマ】運動観察・分析の方法③ 【計画内容】運動の流動、伝導、正確性、先取り、調和といったカテゴリーの内容についての認識を深める。 【準備学習の内容】参考図書を精読してくる。						A、H、G
	第9回	【テーマ】運動の習熟過程と指導過程① 【計画内容】運動の習熟過程である粗形態、精形態、安定段階の3段階を理解し、それぞれの段階における指導の留意点を理解する。 【準備学習の内容】参考図書を精読してくる。						A
	第10回	【テーマ】運動の習熟過程と指導過程② 【計画内容】技術・戦術論：スポーツ運動における技術・戦術の概念を理解する。技術と戦術の関係、合理的主要構成要素、個人的な様式について理解を深める。 【準備学習の内容】参考図書を精読してくる。						A、H
	第11回	【テーマ】指導計画の立て方① 【計画内容】対象者に応じた指導計画の立案・実施・評価方法を理解する。集団への指導、個人への指導の特長を理解する。 【準備学習の内容】前回のプリント内容を精読してくる。						A、H
	第12回	【テーマ】指導計画の立て方② 【計画内容】年齢・発達段階といった各期における指導計画方法を理解する。 【準備学習の内容】前回のプリント内容を精読してくる。						A、H
	第13回	【テーマ】スポーツ活動と安全管理 【計画内容】スポーツ活動における安全管理について学習する。個人的要因、環境的要因、競技特性による違いを理解する。 【準備学習の内容】前回のプリント内容を精読してくる。						A、H
	第14回	【テーマ】指導計画の作成の実際① 【計画内容】各自で指導計画を作成し、指導プログラムを作成する。取り上げるスポーツの歴史的発展、技術構造、指導目標、内容などについて論述する。 【準備学習の内容】前回のプリント内容を精読してくる。						A、H
	第15回	【テーマ】指導計画の作成の実際② 【計画内容】各自で指導計画を作成し、指導プログラムを作成する。取り上げるスポーツの歴史的発展、技術構造、指導目標、内容などについて発表する。 【準備学習の内容】各自の興味のあるスポーツについて調べてくる。						A、F、G
テキスト	プリントを使用します							
参考書	クルト・マイネル著、金子明友訳、1981年、『マイネルスポーツ運動学』、大修館書店、9784469260663 高村泰雄、1987年、『物理教授法の研究』、北海道大学図書刊行会、9784832953017							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	40%		60%				
	補足			レポート				
質問への対応	研究室：437研究室 E-Mail:take@hokusho-u.ac.jp							
資格								
その他								

科 目 名		スポーツ教育演習B		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		近藤 雄一郎					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、学校体育の各種運動領域におけるルールや技術等の基礎的知識及び指導方法論について理論的に学び、学習成果を指導実践に活かすことができることをねらいとする。また、体育理論及び保健分野に関する知識についても理解を深める学習を行う。本講義を通じて、保健体育科教諭として必要な資質・能力を養う。					
	到達目標	(1)保健体育教師に求められる資質・能力について理解することができる。 (2)各種運動領域における基礎的知識を習得することができる。 (3)各種運動領域の指導方法論についての認識を深めることができる。 (4)体育理論及び保健に関する知識を深めることができる。					
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業展開及びスポーツ指導の意義を学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、K
	第2回	【テーマ】A 体づくり運動 【計画内容】体ほぐし運動と体力を高める運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』A 体づくり運動を熟読しておくこと。					A、K
授 業 の 画	第3回	【テーマ】B 器械運動 【計画内容】マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動・平均台運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』B 器械運動を熟読しておくこと。					A、K
	第4回	【テーマ】C 陸上競技 【計画内容】陸上競技の各種目に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』C 陸上運動を熟読しておくこと。					A、K
	第5回	【テーマ】D 水泳 【計画内容】水泳における各泳法に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』D 水泳を熟読しておくこと。					A、K
	第6回	【テーマ】E 球技「ネット型」 【計画内容】ネット型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』E 球技「ネット型」を熟読しておくこと。					A、K
	第7回	【テーマ】E 球技「ゴール型」 【計画内容】ゴール型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』E 球技「ゴール型」を熟読しておくこと。					A、K
	第8回	【テーマ】E 球技「ベースボール型」 F 武道 【計画内容】ベースボール型球技及び武道(柔道、剣道)に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』E 球技「ベースボール型」、F 武道を熟読しておくこと。					A、K
	第9回	【テーマ】G ダンス 冬季スポーツ 【計画内容】ダンス及び冬季スポーツ(スキー、スケート)に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』G ダンス、『中学校体育実技』『スキー及びスケート』を熟読しておくこと。					A、K
	第10回	【テーマ】H 体育理論 【計画内容】体育理論に関する基礎的知識を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』H 体育理論を熟読しておくこと。					A、K
	第11回	【テーマ】保健 【計画内容】保健に関する基礎的知識を学びます。 【準備学習の内容】『中学校学習指導要領解説』『保健分野』を熟読しておくこと。					A、K
	第12回	【テーマ】体育実技①(球技・マット運動) 【計画内容】バレーボール・バスケットボールの基礎的技術、マット運動の連続技に関する実技学習を行います。 【準備学習の内容】『中学校体育実技』『バレーボール』『バスケットボール』『マット運動』を熟読しておくこと。					E、K
	第13回	【テーマ】体育実技②(球技・マット運動) 【計画内容】バレーボール・バスケットボールの基礎的技術、マット運動の連続技に関する実技学習を行います。 【準備学習の内容】『中学校体育実技』『バレーボール』『バスケットボール』『マット運動』を熟読しておくこと。					E、K
	第14回	【テーマ】体育実技③(水泳) 【計画内容】各泳法の技術に関する実技学習を行います。 【準備学習の内容】『中学校体育実技』『水泳』の部分熟読しておくこと。					E、K
	第15回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまで学んできた体育分野及び保健分野に関する基礎的知識について振り返り、理解を深めます。 【準備学習の内容】これまでの学習内容を復習しておくこと。					E、L
テキスト		プリント等を使用します					
参 考 書		文部科学省、2008年・2009年、『中学校・高等学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房 関岡康雄・佐伯年誌雄・永島惇正、2014年、『中学校体育実技』、学研					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	30%	30%			40%	
	補 足						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格							
そ の 他		北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。					

科目名	学校教育研究Ⅱ				授業形態	演習	単位数	2
教員名	渡部 峻							
授業の目的	ねらい	本授業は、学校体育における諸問題や指導方法についての認識を深め、学校教育現場において、児童・生徒に健康やスポーツに関する基礎的・基本的な知識・技術を習得させ、「生きる力」を育成することのできる保健体育教員に必要とされる知識と資質を習得することをねらいとしています。						
	到達目標	(1)学校体育における諸問題についての認識を深めることができる。 (2)「体育」についての基礎的・基本的な知識・技術を再構築し、指導の在り方について認識を深めることができる。 (3)「保健」についての基礎的・基本的な知識・技術を再構築し、指導の在り方について認識を深めることができる。 (4)「保健体育」における「生きる力」をはぐくむ指導の在り方について、認識を深めることができる。						
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと学習指導要領「保健体育」の目的 【計画内容】授業のねらいと到達目標を含め、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。また、学習指導要領「保健体育」の改訂の主旨等を理解し、学校体育の諸問題を学びます。 【準備学習の内容】シラバスの内容と中学校と高等学校の『学習指導要領解説保健体育編』の改訂の主旨を熟読してくる。						A
	第2回	【テーマ】体づくり運動の指導方法 【計画内容】体ほぐし運動、体力を高める運動の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「体づくり運動」を熟読してくる。						B、E、L
	第3回	【テーマ】体育理論の指導方法 【計画内容】体育理論の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「体育理論」を熟読してくる。						B、L
	第4回	【テーマ】器械運動の指導方法 【計画内容】マット、鉄棒、跳び箱、平均台の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「器械運動」を熟読してくる。						B、E、L
	第5回	【テーマ】陸上競技の指導方法 【計画内容】短距離走、長距離走、投てき種目、跳躍種目、リレー種目の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「陸上競技」を熟読してくる。						B
	第6回	【テーマ】水泳の指導方法 【計画内容】クロール、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「水泳」を熟読してくる。						B
	第7回	【テーマ】球技「ネット型」の指導方法 【計画内容】バレーボール、バドミントン、卓球、テニスの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の球技「ネット型」を熟読してくる。						B
	第8回	【テーマ】球技「ゴール型」の指導方法 【計画内容】バスケットボール、サッカー、ハンドボールの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の球技「ゴール型」を熟読してくる。						B
	第9回	【テーマ】球技「ベースボール型」の指導方法 【計画内容】野球、ソフトボールの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の球技「ベースボール型」を熟読してくる。						B
	第10回	【テーマ】武道の指導方法 【計画内容】柔道、剣道、相撲の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「武道」を熟読してくる。						B
	第11回	【テーマ】ダンスの指導方法 【計画内容】創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「ダンス」を熟読してくる。						B
	第12回	【テーマ】冬季スポーツの指導方法 【計画内容】スキー、スケートの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「冬季スポーツ」を熟読してくる。						B、L
	第13回	【テーマ】「保健」の指導方法(1) 【計画内容】中学校「保健」の健康・安全指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『学習指導要領解説保健体育編』の「保健」を熟読してくる。						B、L
	第14回	【テーマ】「保健」の指導方法(2) 【計画内容】高等学校「保健」の健康・安全指導における諸問題とそれに対応した指導方法を学びます。 【準備学習の内容】『高等学校学習指導要領解説保健体育編』の「保健」を熟読してくる。						B、L
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの授業のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】学校体育の諸問題と指導方法について、復習してくる。						B、L
テキスト	2018年、『北海道・札幌市の専門教養保健体育科2016年度版』、協同出版							
参考書	文部科学省、2008年、『中学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房、9784827814637 文部科学省、2009年、『高等学校学習指導要領解説保健体育・体育編』、東山書房、9784827814811 関岡康雄ほか、2010年、『中学校体育実技北海道版』、学研教育みらい							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	20%	50%	30%				
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。その後は、各講義の際に対応します。							
資格								
その他	保健体育科教員を目指す学生は、必ず受講すること。 授業には、「自ら学び、自ら考える」という自主的・積極的な学習態度で臨むこと。							

科 目 名		健康産業施設実習				授業形態	実習	単 位 数	2	
教 員 名		上田 知行								
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動や身体活動の増強を提供・支援する現場でのさまざまなケース(性、年齢、身体状況、嗜好など)に対応できる実践応力を身につけることを目的とする。健康産業施設での実習により、健康産業に携わる専門職の役割について実践を通して理解し、さまざまなケースを体験するなかで、前向きに対応する力、応用する力、考える力を養う。								
	到達目標	(1)運動指導者としてふさわしい接遇能力を身につける。 (2)施設の安全管理、利用者の管理、各種トレーニング機器の使用方法を身につける。 (3)体力測定、集団プログラム、個別プログラムの実践力を身につける。								
授 業 の 計 画	【計画内容】 (1)ガイダンス、運動指導者のために必要な行動目標の確認 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。								A	
	(2)実習計画の作成 具体的な実習計画を作成する。								B	
	(3)～(5)接遇実習 顧客満足度を得られる接遇についての実習と、接遇に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。								D	
	(6)～(9)施設管理業務に関わる実習 施設の安全管理・リスクマネジメント、顧客管理に関する実習と、施設管理業務に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。								D	
	(10)～(14)健康運動実習 実際の運動指導、体力測定、個別プログラムの作成と指導に関する実習と、健康運動の指導に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。								D	
	(15)実習見極め・フィードバック 実習日誌と実習報告書を作成し、これまでの実習を総括した実習報告会を行う。								F、H、L	
		【準備学習の内容】 テキストの該当部分に関わる項目を熟読しておくこと。								
テキスト		『健康運動指導士養成講習会テキスト』、健康・体力づくり事業財団								
参 考 書		講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他			
	配 分			50%		50%				
	補 足									
質問への対応		講義時に説明します。								
資 格		[ス]健康運動指導士 _ 必修								
そ の 他		健康運動指導士受験資格を得るためのすべての科目を履修していること。								

科 目 名		アスレティックトレーニング指導実習				授業形態	実習	単 位 数	4	
教 員 名		吉田 真、吉田 昌弘								
授 業 の 目 的	ねらい	本科目はアスレティックトレーナー専門科目カリキュラムにおける現場実習に相当することから、機能評価に基づくアスレックリハビリテーションおよびコンディショニングの目標設定とプログラムの立案を実践する。担当したケースにおける、医学的情報の収集、機能評価と問題点の抽出、プログラム立案までの一連の流れについてプレゼンテーションを行いカンファレンス形式で展開する。加えて、配属先のチームにおけるアスレティックトレーナーとしての役割を把握し、医科学スタッフとの連携・協力、アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理について経験を積むことを目的とする。								
	到達目標	(1)機能評価に基づくアスレックリハビリテーションおよびコンディショニングの目標設定とプログラムの立案ができる。 (2)配属先チームにおいてアスレティックトレーナーとしての役割を把握できる。 (3)医科学スタッフとの連携・協力の意義を理解し実践できる。 (4)アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理を経験する。								
授 業 の 計 画	【計画内容】								A、B	
	1. オリエンテーション(吉田真・吉田昌弘) (1)アスレティックトレーニング指導実習の展開方法について説明します (2)実習参加における心構えおよび事前準備などについて指導します									
	2. 事前活動(吉田真・吉田昌弘) (1)情報収集活動計画の立案 (2)配属先競技種目・団体の情報収集(選手・スタッフ構成、練習・試合計画、練習環境など) (3)スポーツ外傷・障害に関する医学的情報の収集 (4)競技者のコンディショニングに関する情報収集 (5)現場活動計画の立案								M	
	3. 評価測定活動(吉田真・吉田昌弘) (1)検査測定と評価の実践 (2)問題点の抽出と統合解釈								H	
	4. プログラム立案(吉田真・吉田昌弘) (1)アスレックリハビリテーションのプログラム立案 (2)コンディショニングのプログラム立案								H	
	5. プログラム実践活動(吉田真・吉田昌弘) (1)プログラムの実施 (2)検査測定と評価(プログラム実施の効果検証) (3)救急処置 (4)テーピング								M	
6. 発表会(吉田真・吉田昌弘) (1)ケースカンファレンス (2)測定評価のフィードバック								F		
		【準備学習の内容】 アスレティックトレーナー関連科目の内容を復習すること。								
テキスト		講義時に説明します								
参 考 書		講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他			
	配 分		20%	20%		50%	10%			
	補 足									
質問への対応		随時対応します。								
資 格		[ス]アスレティックトレーナー_必修								
そ の 他										

科 目 名		アスリートを取り巻く環境			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		永谷 稔						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、現在アスリートを取り巻く環境として、トップアスリートからプロや実業団、大学や高校・中学、それぞれにおける現状や課題・問題点を理解する。アスリートや指導者として、どのような環境が望ましいことなのか、また限られた環境のなかでいかに成果をあげていくのか、理解を深めたい。さらに、今後の自らの競技環境の変化や指導者として後進の育成につなげられることを期待したい。						
	到達目標	(1)トップアスリートからプロや実業団などを取り巻く環境の現状を理解する。 (2)トップアスリートからプロや実業団などを取り巻く環境の問題や課題を理解する。 (3)アスリートや指導者として取り巻く環境のなかでの実行力を身につける。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の内容についてガイダンスする。 【準備学習の内容】シラバスの熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】トップアスリートを取り巻く環境 【計画内容】オリンピック出場や全日本トップレベルのアスリートを取り巻く環境について、競技種目ごとに整理する。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。						A
	第3回	【テーマ】プロスポーツを取り巻く環境 【計画内容】プロ野球、Jリーグに代表されるプロスポーツアスリートを取り巻く環境について、所属リーグ・団体・組織状況について理解する。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。						A、H、J、K
	第4回	【テーマ】実業団スポーツを取り巻く環境 【計画内容】実業団スポーツを取り巻く環境について、所属企業・組織状況について理解する。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。						A、H、J、K
	第5回	【テーマ】大学・高校・中学におけるスポーツを取り巻く環境 【計画内容】大学・高校・中学におけるスポーツを取り巻く環境について、公立と私立、強豪校と一般校などの事例から理解する。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。						A、H、J、K
	第6回	【テーマ】日本のスポーツ環境の変遷 【計画内容】これまでの日本のスポーツ環境の変遷について、主に明治期以降、戦前と戦後から理解を深める。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と、問題・課題について意見をもつ。						A、H、J、K
	第7回	【テーマ】世界のスポーツ環境の変遷 【計画内容】世界のスポーツ環境の変遷について、主にアメリカ、イギリス、ドイツ、中国の事例から理解を深める。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と、問題・課題について意見をもつ。						A、H、J、K
	第8回	【テーマ】トップアスリートとキャリア 【計画内容】トップアスリートとキャリアについて、これまでの状況と現在そして今後の展開事例について理解を深める。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と、問題・課題について意見をもつ。						A、H、J、K
	第9回	【テーマ】新たな取り組みや先進事例 【計画内容】日本をはじめ世界における、アスリートを取り巻く環境の新たな取り組みや先進事例について理解を深める。 【準備学習の内容】シラバスの熟読と自らの競技に関する環境について理解しておく。						A、H、J、K
	第10回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望① 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。						F、J、K
	第11回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望② 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。						F、J、K
	第12回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望③ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。						F、J、K
	第13回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望④ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。						F、J、K
	第14回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望⑤ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【準備学習の内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。						F、J、K
	第15回	【テーマ】これまでのふりかえり 【計画内容】これまでの学習内容のふりかえりを行う。 【準備学習の内容】これまでの学習内容の復習をしておく。						A、G、K
テキスト		講義時に説明する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			60%		40%		
質問への対応		オフィスアワー：952研究室まで						
資 格								
そ の 他								

科 目 名			競技スポーツコーチング演習Ⅱ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			畠中 智志、大西 昌美、大宮 真一、菊地 はるひ、竹内 雅明、永谷 稔、畠山 孝子、廣田 修平、横山 茜理					
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツのコーチングは、個々の力を最大限に伸ばすところが目標となる。そのための正しい理論を理解し、専門的な理解を深め、質の高い指導者になるための指導方法を身につけることを目標とする。						
	到達目標	(1)技術指導を行うための基礎理論を理解し、専門知識を身に付ける。 (2)コーチングに必要な観察力、伝達力を身に付ける。 (3)段階的な指導方法を身に付ける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】競技スポーツの指導とは 【計画内容】競技スポーツの指導の基礎理論を学ぶ。 【準備学習の内容】シラバスを熟読しておくこと。						B、K
	第2回	【テーマ】競技スポーツ指導の実際(1) 【計画内容】技術指導の観察と視点について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、K
	第3回	【テーマ】競技スポーツ指導の実際(2) 【計画内容】運動の修正とフィードバックについて学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、K
	第4回	【テーマ】競技スポーツ指導の実際(3) 【計画内容】師範と表現方法について学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、K
	第5回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(1) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、K
	第6回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(2) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第7回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(3) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第8回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(4) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第9回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(5) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、G、 K、N
	第10回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(6) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第11回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(7) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第12回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(8) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第13回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(9) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第14回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(10) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【準備学習の内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。						B、H、 K、N
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】競技スポーツのコーチングのまとめと指導実践の確認を行う。 【準備学習の内容】前回までの授業内容を十分に復習し、指導内容について確認をしておくこと。						B、F、 G、L
テキスト		初回講義時に説明します						
参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			60%		40%		
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格								
そ の 他		本学において、野球・陸上競技・エアロビクス・バドミントン・バレーボール・ソフトテニス・体操競技・バスケットボールを専門種目として日々意欲的に取り組んでいる学生を対象とする。						

教職に関する科目

科目名		教育実習事後指導	授業形態	講義	単位数	1
教員名		吉澤 正伸、阿部 達彦、瀧澤 聡、西村 貴之				
授業の目的	ねらい	教育実習で得られた成果や反省点を確認し、今後の教職生活を送る上での課題を明確にすることで、教師としての資質や能力を向上させることや、より意欲的に研修に取り組む態度を身に付けます。				
	到達目標	(1)教育実習における教科指導や生徒指導等の重要性を理解できる。 (2)教師としての在り方や使命感・責任感を理解できる。 (3)教師としての研修の意義を理解できる。				
授業の計画	【計画内容】					A
	1. オリエンテーション(全教員) 教育実習を終え、その体験内容を今後の教職にどう活かすかについて学びます。					G、H
授業の計画	2. グループワーク(全教員) (1)教育実習の成果や反省点についてグループ毎に討議します。 (2)討議内容に基づき、教育実習で学んだことをレポートにまとめます。					F、G、H
	3. 教育実習報告会(全教員) グループワークによるまとめのプレゼンテーションを行い、教育実習で学んだ成果を共有するとともに、今後の教師としての資質や能力を向上させるための課題を確認します。					
授業の計画	【準備学習の内容】 教育実習を振り返り、その成果と反省点を踏まえて自己の課題を明確にしてくる。					
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、2014年、『教育実習の手引き』				
参考書		文部科学省、2008年・2009年、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2008年・2009年、『中学校・高等学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房				
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分			60%		40%
成績評価の方法	補足			レポート等		
		初回講義時に具体的に説明します。				
資格		[ス]中・高1種(保健体育)_必修				
その他		教育実習の単位を取得する学生が対象となります。実習を辞退した場合、履修登録を事前にしているにもかかわらず履修できません。				

科 目 名		教育実習Ⅰ			授業形態	実習	単 位 数	4		
教 員 名		西村 貴之、吉澤 正伸								
授 業 の 目 的	ねらい	教育実習校において、その学校の教職員の指導のもとに教育指導の実習を行い、学校運営、教職員の職務内容、教科や特別活動等の指導技術、生徒理解・生徒指導および保護者や地域との連携のあり方等々を具体的に学びます。 教師としての使命感・責任感を養い、かつ実践的指導力の基礎・基本の習得を図り、現在の学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指すために自己の資質能力を高めることを学びます。								
	到達目標	(1)教師としての使命感・責任感を養い、実践的な指導力を身に付ける。 (2)教職の基礎・基本の習得を図り、教師の課題を把握し資質能力の向上を図る。								
授 業 の 計 画		【計画内容】 1. オリエンテーション：教育実習の心得と準備について学びます。 2. 事前準備：学校の目標、教員の職務内容、学級（ホームルーム）、生徒指導について学びます。 [事前指導]では (1)教育実習の意義・・・教育実習で学んでほしいこと。 (2)授業づくり・・・教科授業の設計と授業の展開と評価について。 (3)教育実習の実際・・・実習校の指導教諭の立場から考える。 3. 教育実習を終えて事例検討を行い今後のあり方について学びます。 [事後指導]では (1)教育実習で学んだことについて実習生から報告を受け幅広い検討を行います。 (2)教育実習後にレポート作成し、その提出を行います。 【準備学習の内容】 教職関連教科・科目の復習、『教育実習の手引き』により事前準備の確認をしておくこと。					A			
							A、D			
							D、F、G、L			
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、2015年、『教育実習の手引き』								
参 考 書		文部科学省、2008年・2009年、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、2008年・2009年、『中学校・高等学校学習指導要領解説各教科』、東山書房								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他			
	配 分					30%	70%			
	補 足					オリエンテーション等	実習校の評価			
質問への対応		オリエンテーション等で具体的に説明します。								
資 格		[ス]中1種(保健体育)_必修、高1種(保健体育)_選必、ジュニアスポーツ指導員_選必								
そ の 他		教職課程を履修し、教育実習前に定められた科目を修得した学生が受講対象となります。 ※法令や実習校の定めた期間中は実習校の教職員に準じた勤務内容で実施します。								

科 目 名	教育実習Ⅱ				授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名	西村 貴之、吉澤 正伸							
授 業 の 目 的	ねらい	教育実習校において、その学校の教職員の指導のもとに教育指導の実習を行い、学校運営、教職員の職務内容、教科や特別活動等の指導技術、生徒理解・生徒指導および保護者や地域との連携のあり方等々を具体的に学びます。 教師としての使命感・責任感を養い、かつ実践的指導力の基礎・基本の習得を図り、現在の学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指すために自己の資質能力を高めることを学びます。						
	到達目標	(1)教師としての使命感・責任感を養い、実践的な指導力を身に付ける。 (2)教職の基礎・基本の習得を図り、教師の課題を把握し資質能力の向上を図る。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 1. オリエンテーション：教育実習の心得と準備について学びます。 2. 事前準備：学校の目標、教員の職務内容、学級（ホームルーム）、生徒指導について学びます。 [事前指導] (1)教育実習の意義・・・教育実習で学んでほしいこと。 (2)授業づくり・・・教科授業の設計と授業の展開と評価について。 (3)教育実習の実際・・・実習校の指導教諭の立場から考える。 3. 教育実習を終えて事例検討を行い今後のあり方について学びます。 [事後指導] (1)教育実習で学んだことについて実習生から報告を受け幅広い検討を行います。 (2)教育実習後にレポート作成し、その提出を行います。 【準備学習の内容】 教職関連教科・科目の復習、『教育実習の手引き』により事前準備の確認をしておくこと。							D
								D
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、2015年、『教育実習の手引き』							
参 考 書	文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房、2008年・2009年 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説各教科』、東山書房、2008年・2009年							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分					30%	70%	
	補 足					オリエンテーション等	実習校における評価	
質問への対応	オリエンテーション等で具体的に説明します。							
資 格	[ス]高1種(保健体育)_選必							
そ の 他	教職課程を履修し、教育実習前に定められた科目を修得した学生が受講対象となります。 ※法令や実習校の定めた期間中は実習校の教職員に準じた勤務内容で実施します。							

科 目 名	教職実践演習(中・高)					授業形態	講義・演習	単 位 数	2
教 員 名	西村 貴之、阿部 達彦、瀧澤 聡、吉澤 正伸								
授 業 の 目 的	ねらい	4年間の教職課程の振り返りと課題の発見を通して、中学校ならびに高等学校の保健体育教諭・特別支援教諭として身につけておかねばならない資質や能力の確認とともにさらなる知識や教育技術の補充を図ることを目指します。							
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情等が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)生徒理解や学級経営等が理解できている。 (4)教科内容の指導力が身についている。							
授 業 の 計 画	第1回【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 15回の授業展開を説明します。教員となるための自己課題の設定。(全教員) 【準備内容】 履修カルテの作成を通して自己の課題を明確にする。								A
	第2回～第8回 【テーマ】 分野別演習 【計画内容】 4つの分野の演習を少人数グルーローテーションで行います。 「保健体育科教育指導分野」(吉澤正伸) 「特別支援教育分野」(瀧澤聡) 「学校経営分野」(阿部達彦) 「教育学分野」(西村貴之) 【準備内容】 分野別演習で求められる予習を行って演習に参加すること。								B、F、H、N
	第9回～第12回 【テーマ】 学校現場の教育の営みを理解する 【計画内容】 教員の研修等に参与観察することを通して、現場の教員がどのように自身の専門性を高めようとしているのか理解します。(吉澤正伸) 【準備内容】 大学における教職課程の学びを復習しておく。								D
	第13回～第14回 【テーマ】 冬季スポーツ指導補助 【計画内容】 近隣の義務教育学校のスキー補助を行うことで指導力を高めます。(阿部達彦) 【準備内容】 教科教育で修得したスキーの技術について復習しておく。								D
	第15回【テーマ】 振り返り 【計画内容】 4年間の教職課程で学んだことの振り返りを行います。そのうえで、今後の教員生活を送るうえで自己の課題や目標を定めます。(全教員) 【準備内容】 これまでの履修内容について復習しておく。								A、L
	【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。履修カルテから自己の課題を明確にする。								
テキスト	文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説保健体育編』、東山書房 北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』								
参 考 書	適宜プリントを配付します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			60%		40%			
	補 足			レポート等					
質問への対応	初回講義時に説明します。								
資 格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修								
そ の 他	教職課程を履修する者のうち、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」のすべてを修得済み、あるいは修得見込みであることが履修を許可されます。「教職課程の総括」をおこなう科目内容の特性上、他の科目の履修方法とは異なります。履修および評価方法について初回の講義時に説明します。								

科 目 名		学校ボランティア活動Ⅰ			授業形態	実習	単 位 数	1
教 員 名		西村 貴之						
授 業 の 目 的	ねらい	教員の資質として、学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等の教育活動を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、学校ボランティア活動を通して、学校現場ではどのような教育活動が営まれているのか、また学校に通う子どもの生き方への理解を深めます。さらには、教師を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。						
	到達目標	(1)学校現場においてどのように教育活動が営まれているのかを理解する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、子どもの生き方を考え、理解を深める。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。						
授 業 の 計 画	1 学校における教育活動とは(90分) 【計画内容】 学校における、教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び、学校ボランティア活動の意義を理解する。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読すること。						A	
	2 実際の学校現場でのボランティア活動(1日3時間を基本として8回実施 :24時間) 【計画内容】 学校ボランティア活動を実践することで、生徒の行動や生活の様子を理解する。 また、個別に配慮が必要な子どもの教育支援や学校行事、体験活動の補助、 休み時間・部活動等の授業外の支援等を行う。必ず各自で課題を設定し、目標を持って取り組み、毎回、ボランティア活動記録を記載すること。 【準備学習の内容】 ボランティア活動を行う学校について事前に調べ、担当の先生と事前の打合せを行っておくこと。						D	
	3 授業参与観察(90分) 【計画内容】 参観した授業の内容について交流し、教師の生徒への望ましいかわり方について深める。 【準備学習の内容】 訪問する学校の経営計画等事前に調べる。ボランティア活動を通して得られたより深めたい問いを整理しておく。						M	
	4 学校ボランティアの交流(90分) 【計画内容】 活動をまとめ交流することで、新たな目標を設定する。 【準備学習の内容】 活動内容ならびに今後の課題等をA4・1枚にまとめておく。						F	
	【準備学習の内容】 子どもの対応について、これまでの受講した教職に関する科目の講義のノートを読み返しておくこと。							
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『高等学校学習指導要領』、東山書房						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			40%		60%		
質問への対応		初回講義時ならびに教職担当者へ適宜相談(事前に予約して)に来ること。						
資 格								
そ の 他		この科目を履修する学生は、北海道教育委員会をはじめ教育委員会から教職センターに依頼されたボランティア活動に従事することになります。単位取得条件として、規定の時間のボランティア活動に加えて、①教育委員会が開催する学校ボランティア説明会への参加、②講義(事前・事後)および参観研究授業への出席、③レポート等の提出が義務付けられています。なお、この科目の単位は教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

科目名		学校ボランティア活動Ⅱ			授業形態	実習	単位数	1
教員名		西村 貴之						
授業の目的	ねらい	教員の資質として、学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等の教育活動を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、前年度の学校ボランティア活動を通して見出された課題意識をもって新たに学校ボランティア活動に従事することで、生徒理解や教師を目指す者として、発展的に自己の教育観を確立できるよう学びを深めます。						
	到達目標	(1)学校現場においてどのように教育活動が営まれているのかを理解する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、子どもの生き方を考え、理解を深める。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。						
授業の計画		1 学校ボランティア活動2年目の課題とは(90分) 【計画内容】 継続して学校ボランティア活動に従事するにあたっての新たな目標を各自どのように立てているのかを語りあいながら、履修する学生に共通の課題を見出す。 【準備学習の内容】 各自どのように取り組むのか課題意識を明確にしてくる。					F	
		2 実際の学校現場でのボランティア活動 (1日3時間を基本として8回実施 :24時間) 【計画内容】 学校ボランティア活動を実践することで、生徒の行動や生活の様子を理解する。また、個別に配慮が必要な子どもの教育支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・部活動等の授業外の支援等を行う。必ず各自で課題を設定し、目標を持って取り組み、毎回、ボランティア活動記録を記載すること。 【準備学習の内容】 ボランティア活動を行う学校について事前に調べ、担当の先生と事前の打合せを行っておくこと。					D	
		3 授業参与観察(90分) 【計画内容】 参観した授業の内容について交流し、教師の生徒への望ましいかわり方について深める。 【準備学習の内容】 訪問する学校の経営計画等事前に調べる。ボランティア活動を通して得られたより深めたい問いを整理しておく。					M	
		4 学校ボランティアの交流(90分) 【計画内容】 活動をまとめ交流することで、新たな目標を設定する。 【準備学習の内容】 活動内容ならびに今後の課題等をA4・1枚にまとめておく。					F	
		【準備学習の内容】 子どもの対応について、これまでの受講した教職に関する科目の講義のノートを読み返しておくこと。						
テキスト		講義時に説明します						
参考書		適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『高等学校学習指導要領』、東山書房						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
	補足							
質問への対応		初回講義時ならびに教職担当者へ適宜相談(事前に予約して)に来ること。						
資格								
その他		この科目を履修する学生は、前年度に「学校ボランティア活動Ⅰ」の単位を取得済みの者を対象とします。北海道教育委員会をはじめ教育委員会から教職センターに依頼されたボランティア活動に従事することになります。単位取得条件として、規定の時間のボランティア活動に加えて、①教育委員会が開催する学校ボランティア説明会への参加、②講義(事前・事後)および参観研究授業への出席、③レポート等の提出が義務付けられています。なお、この科目の単位は教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

健康福祉学科
学科専門科目

科 目 名		生涯スポーツ(障がい者スポーツ)		授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		阿部 達彦、齊藤 雄大					
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツの取り組みは、我々の生活を支えるものであり、特に余暇活動の充実においても重要な役割を果たしている。本講義では、実際に障がいのある人たちが取り組んでいる様々な障がい者スポーツを実技体験することで、障がい者スポーツの楽しさを知り、障がいのある人の現在及び将来の生活の充実のためにスポーツが果たす役割や、競技を行う上での配慮事項について理解することをねらいとする。					
	到達目標	(1)視覚障がい者や肢体不自由者の街中での疑似体験活動を通して、障がいのある人に対する必要な支援の方策や課題について理解する。 (2)障がい者スポーツの実技体験を通して、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて理解する。 (3)近隣の小学校等へのスポーツボランティア等を行いながら、障がい者スポーツへの理解と啓発を行う。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。全体での指導やグループ別の指導で行うことから、計画や概要について十分理解を図ります。(全教員) 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。					A、E
	第2回	【テーマ】視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施① 【計画内容】車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がい者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。(全教員) 【準備学習の内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E
	第3回	【テーマ】視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施② 【計画内容】車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がい者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。(全教員) 【準備学習の内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E
	第4回	【テーマ】屋外での車椅子走(ショートレース) 【計画内容】大学構内で実際に車椅子走のショートレース(タイムトライアル)を行います。(全教員) 【準備学習の内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E
	第5回	【テーマ】視覚障がい者走の体験 【計画内容】2人一組になり、1人がアイマスクを着用し、実際に大学構内で視覚障がい者中距離走のタイムトライアルを行います。(全教員) 【準備学習の内容】視覚障がい者の特徴を理解し把握しておくこと。					E
	第6回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ポッチャ① 【計画内容】車椅子に乗って実際に介助者の支援を受け、ランプ(補助具)等を用いながらパラリンピック種目の競技ポッチャを体験します。(全教員) 【準備学習の内容】重度の肢体不自由者の特徴について、理解し把握しておくこと。					E
	第7回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ポッチャ② 【計画内容】車椅子に乗って実際に介助者の支援を受け、ランプ(補助具)等を用いながらパラリンピック種目の競技ポッチャを体験します。(全教員) 【準備学習の内容】重度の肢体不自由者の特徴について、復習しておくこと。					E
	第8回	【テーマ】車椅子バスケットボール① 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの基礎(車椅子操作・ボール操作・パス・シュート)を体験します。(全教員) 【準備学習の内容】車椅子に乗った状態でゴール型スポーツの基礎を体験します。					E
	第9回	【テーマ】車椅子バスケットボール② 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。(全教員) 【準備学習の内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E
	第10回	【テーマ】車椅子バスケットボール③ 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。(全教員) 【準備学習の内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E
	第11回	【テーマ】車椅子ソフトボール① 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの基礎(キャッチボール・バッティング・ルール等)を体験します。(全教員) 【準備学習の内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E
	第12回	【テーマ】車椅子ソフトボール② 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。(全教員) 【準備学習の内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E
	第13回	【テーマ】車椅子ソフトボール③ 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。(全教員) 【準備学習の内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。					E
	第14回	【テーマ】パラリンピックや特別支援学校体育における肢体不自由者及び視覚障がい者のスポーツ 【計画内容】その他の肢体不自由者のスポーツ(フリスビー・シットینگバレー・カーリング、風船バレー)や視覚障がい者のスポーツ(ブラインドサッカー・フロアバレー・ゴールボール等)について理解します。(全教員) 【準備学習の内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。					E
	第15回	【テーマ】肢体不自由者のスポーツ、重複障がい者のスポーツ、視覚障がい者のスポーツ等の振り返りとまとめ 【計画内容】車椅子バスケット、車椅子ソフトボール、ポッチャ等の実技を振り返り、まとめを行います。(全教員) 【準備学習の内容】これまで実施した実技内容と「障がい者スポーツ論」の該当箇所を復習しておくこと。					A、E
テキスト		プリントを使用する					
参 考 書		講義時に説明する					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分 補足			50%		50%	
質問への対応		初回講義時に授業内容等について具体的に説明します。					
資 格		[健] [ス]障がい者スポーツ指導員_必修					
そ の 他		以下の学生の受講が望ましい。 運動指導に関する進路を考えている学生、及び特別支援学校の教員を目指している学生。前年度に「障がい者スポーツ論」の単位を修得し「障がい者スポーツ指導員(初級)」の資格を取得する予定の学生。					

科 目 名			運動処方演習		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			上田 知行、沖田 孝一、小坂井 留美					
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動を指導するのに必要な実践力を磨くには、①安全で効果的な運動処方作成のために必要な運動負荷試験の実際や、②生活習慣病の予防や改善に関わる集団と個別に対応する運動処方作成の方法、③介護予防に関わる集団と個別に対応するための運動処方の方法を実践形式で学び、それぞれの集団および個人に適した運動プログラムを処方する能力を身につける。						
	到達目標	(1)運動負荷試験の方法を学ぶ。 (2)生活習慣病の予防や改善に関わる運動処方作成の方法を身につける。 (3)介護予防に関わる運動処方作成の方法を身につける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス・運動処方作成のために必要な行動目標 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(上田知行) 【準備学習の内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】 身体活動量の把握と運動処方 【計画内容】 身体活動量を把握する方法と運動処方の作成方法について学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 運動処方の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第3回	【テーマ】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方 【計画内容】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 転倒予防に必要な体力要素について復習しておくこと。						B
	第4回	【テーマ】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方 【計画内容】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方のプログラミングについて学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 行動変容理論の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第5回	【テーマ】 変形性関節症のための運動処方 【計画内容】 変形性関節症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(下肢)の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第6回	【テーマ】 腰痛症のための運動処方 【計画内容】 腰痛症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(腰部)の基本的知識について復習しておくこと。						B
	第7回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅰ(肥満症) 【計画内容】 生活習慣病のうち肥満症に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 肥満症について理解を深めておくこと。						B
	第8回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅱ(高血圧症) 【計画内容】 生活習慣病のうち高血圧症に対する運動処方の方法を学びます。(小坂井留美) 【準備学習の内容】 高血圧症について理解を深めておくこと。						B
	第9回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅲ(糖尿病) 【計画内容】 生活習慣病のうち糖尿病に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 糖尿病について理解を深めておくこと。						B
	第10回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅳ(虚血性心疾患) 【計画内容】 生活習慣病のうち虚血性心疾患に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【準備学習の内容】 虚血性疾患について理解を深めておくこと。						B
	第11回	【テーマ】 運動負荷試験の実際 【計画内容】 運動負荷試験の方法について学びます。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						B
	第12回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅰ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
	第13回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅱ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
	第14回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅲ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
	第15回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅳ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【準備学習の内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。						D
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		『健康運動指導士テキスト』						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	30%		40%		30%		
	補 足							
質問への対応		講義時に説明します。						
資 格		[ス]健康運動指導士_必修						
そ の 他		「運動生理学」「運動処方論」「中高年スポーツ論」を履修していること。 本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科 目 名		介護実践管理論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		八巻 貴穂、干場 有理子、前田 顕						
授 業 の 目 的	ねらい	介護は戦後、特に1980年代以降急速に発展してきた分野である。その実践の場は施設、病院、在宅に加え、近年グループホーム等の新たな形態が増加している。これに加えて介護の重度化、ニーズの多様化も進み、要介護者の生活支援のマンパワーは質・量の両面が必要とされている。同時に介護職員が連携しながら働くことのできる組織化、システム化が不可欠となっている。本講義では、最善の介護を提供するためにどのような組織を編成し、運営していけば良いかという介護管理について、現在の介護の社会的、実践的課題と合わせて学び、実践の場で一人ひとりが考えられるようになることがねらいである。						
	到達目標	(1)介護実践について管理的・統括的な視点で考察することができる。 (2)介護福祉サービスにおける組織運営について理解する。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の進め方、管理論とは何かについて説明します。(八巻貴穂) 【準備学習の内容】シラバスの内容をよく理解しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】在宅サービスの役割 【計画内容】利用者の視点に立って在宅サービスの役割について考えます。(干場有理子) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第3回	【テーマ】リスクマネジメント 【計画内容】利用者、事業所それぞれの観点からリスクについて考えます。リスクマネジメントの目的と効果について学びます。(干場有理子) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第4回	【テーマ】ケアマネジメント 【計画内容】チームケアの在り方について考えます。介護マニュアルの必要性について学び、マニュアルに必要な項目などを考えます。(干場有理子) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L、K
	第5回	【テーマ】チームマネジメント 【計画内容】チームの質の向上の方法を学びます。介護福祉士としての自己研鑽の必要性和方法について理解します。(干場有理子) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第6回	【テーマ】通所介護事業所の理解 【計画内容】通所介護のさまざまなサービスと「通所介護自己評価表」を活用した運営方法について学びます。(干場有理子) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第7回	【テーマ】通所介護事業所のサービスを考える1 【計画内容】グループワークで、利用者の視点に立った、かつ地域の特性に応じた通所介護事業所のサービス内容を考えます。(干場有理子) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L、K
	第8回	【テーマ】通所介護事業所のサービスを考える2 【計画内容】グループごとに考えた通所介護事業所のサービス内容の発表と意見交換を行います。(干場有理子) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						F
	第9回	【テーマ】福祉施設サービスを考える 【計画内容】高齢者の多様化する居住形態・ライフスタイルの中における福祉施設の内容・役割を比較しながら理解します。(前田顕) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第10回	【テーマ】福祉施設の組織運営を知る 【計画内容】社会福祉法人の組織構造・概念を学びます。(前田顕) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第11回	【テーマ】多職種協働(チームケア)の意義を学ぶ 【計画内容】福祉施設では多くの職種が連携して利用者を支えていることを理解します。(前田顕) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第12回	【テーマ】介護実践におけるケアの構築について考える 【計画内容】良い介護実践には、直接介護だけではなくケアサービスの種類や委員会等があることを確認します。(前田顕) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第13回	【テーマ】福祉施設でのリスクマネジメントを知る 【計画内容】介護現場にはさまざまなリスクがあり、回避対策も検討されています。具体的に検証しながら考えます。(前田顕) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						A、L
	第14回	【テーマ】テーマを持って施設見学する 【計画内容】講義で学んだことを踏まえ、各自課題を持ちながら通所系、入所系の施設見学を行います。(前田顕) 【準備学習の内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。						M
	第15回	【テーマ】介護実践管理論から学んだこと 【計画内容】今までの学びや施設見学での気づきを課題に沿って各自発表します。(前田顕) 【準備学習の内容】発表の準備を行うこと。						F
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%		50%	
補 足								
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		グループ討議の形式を多用し、自ら考え学びを深めることを目指します。 卒業後の進路として介護福祉職を目指す学生は、積極的に授業に参加することを期待します。						

科 目 名		現代社会と福祉Ⅰ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		伊藤 新一郎					
授 業 の 目 的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となっており、社会福祉の支援対象も広がりをみせている。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない／まだはじまったばかりの支援があることも現実である。 以上より、本科目では、社会福祉の理念・原理・哲学に加え、現代社会の変化・動向と福祉政策の関係、そしてそれに関わる主体(アクター)間の役割分担、社会福祉や福祉政策の課題などについて取り上げる。					
	到達目標	(1)現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 (2)福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 (3)福祉政策の構成要素(政府、市場、家族、個人等)について理解する。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】社会の変化と福祉① 【計画内容】 伝統社会から近代社会への移行、福祉国家の成立について学ぶ。 【準備学習の内容】 近代社会・福祉国家について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第2回	【テーマ】社会の変化と福祉② 【計画内容】 福祉国家の変容、現代社会の変化と福祉、福祉政策の課題について学ぶ。 【準備学習の内容】 福祉政策における今日的課題とされる事項について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第3回	【テーマ】福祉と福祉政策① 【計画内容】 社会福祉の概念と範囲について歴史的展開と今日的動向について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会福祉の概念・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第4回	【テーマ】福祉と福祉政策② 【計画内容】 福祉政策の特徴と社会福祉士の役割・機能について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会福祉士及び介護福祉士法の内容について確認しておく。					A
	第5回	【テーマ】福祉の思想と哲学① 【計画内容】 福祉の思想・哲学、市場の論理と倫理について学ぶ。 【準備学習の内容】 福祉の思想に関わる人権について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第6回	【テーマ】福祉の思想と哲学② 【計画内容】 福祉の理論的基礎としてのロールズの正義論とセンの潜在能力論について学ぶ。 【準備学習の内容】 ロールズとセンの主張について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第7回	【テーマ】社会政策と福祉政策 【計画内容】 社会政策と福祉政策の概念・範囲と両者の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会政策と福祉政策の範囲・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第8回	【テーマ】福祉政策の発展過程① 【計画内容】 近代化と福祉政策の関係・展開について学ぶ。 【準備学習の内容】 近代化・産業化の特徴について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第9回	【テーマ】福祉政策の発展過程② 【計画内容】 戦後から高度経済成長期における福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】 戦後復興と高度経済成長期における日本の社会経済について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第10回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策① 【計画内容】 1970年代～1980年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】 オイルショック・行政改革について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第11回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策② 【計画内容】 1990年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】 バブル経済の崩壊、失われた10年について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第12回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策③ 【計画内容】 2000年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【準備学習の内容】 社会福祉基礎構造改革、社会福祉法の成立、契約制度について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第13回	【テーマ】福祉政策と政治 【計画内容】 福祉政策と政治・社会の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】 日本の政治制度や地域・家族・社会変化の動向について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第14回	【テーマ】福祉政策と経済 【計画内容】 福祉政策と経済の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】 今日の政府による経済政策(アベノミクス等)について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】 本科目のまとめを行う。 【準備学習の内容】 14回までの内容を復習しておく。					A
テキスト		毎回、講義資料を配付する。					
参 考 書		必要に応じて紹介する。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	70%				30%	
補 足							
質問への対応		E-Mail: ito@hokusei.ac.jp					
資 格		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必					
そ の 他		・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・社会経済情勢や福祉政策・社会保障の動向に関するマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。					

科 目 名		現代社会と福祉Ⅱ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		伊藤 新一郎					
授 業 の 目 的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となっており、社会福祉の支援対象も広がりをみせている。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない／まだはじまったばかりの支援があることも現実である。 以上より、本科目では、福祉政策における必要（ニーズ）や関連領域との関係や動向、実際の相談援助における原理・原則、先進諸国の福祉政策の展開、現在の日本における福祉政策理念のポイントと今後の課題などについて取り上げる。					
	到達目標	(1)福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 (2)福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む)の関係について理解する。 (3)相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 (4)福祉政策の国際的動向と課題について理解する。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】福祉政策における必要と資源 【計画内容】必要（ニーズ）概念と資源について学ぶ。 【準備学習の内容】必要（ニーズ）概念について他科目で学習した内容を復習しておく。					A
	第2回	【テーマ】福祉政策の理念・主体・手法 【計画内容】福祉政策の理念、資源配分システム、政策決定と評価について学ぶ。 【準備学習の内容】福祉政策の理念の基礎となる社会福祉における価値について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第3回	【テーマ】福祉政策と関連領域① 【計画内容】福祉政策と権利擁護、保健医療、所得保障の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第4回	【テーマ】福祉政策と関連領域② 【計画内容】福祉政策と雇用、教育、住宅、災害支援の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第5回	【テーマ】社会福祉制度の体系① 【計画内容】社会福祉制度の仕組みと構造について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第6回	【テーマ】社会福祉制度の体系② 【計画内容】社会福祉制度と福祉サービスの関係・現状・課題について学ぶ。 【準備学習の内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第7回	【テーマ】福祉サービスの提供① 【計画内容】福祉サービスの提供・利用方式(措置・高齢・障害・保育など)について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第8回	【テーマ】福祉サービスの提供② 【計画内容】福祉サービスの提供における運営管理部門の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第9回	【テーマ】福祉サービスと相談援助① 【計画内容】相談援助の原理・原則・方法について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第10回	【テーマ】福祉サービスと相談援助② 【計画内容】相談援助と地域福祉の関係と今日的展開について学ぶ。 【準備学習の内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。					A
	第11回	【テーマ】福祉政策の国際比較① 【計画内容】北米と西欧・北欧の福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】アメリカ・イギリス・スウェーデンなどの先進諸国の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第12回	【テーマ】福祉政策の国際比較② 【計画内容】東アジア諸国の福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】韓国・中国・台湾の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第13回	【テーマ】福祉政策の課題と展望① 【計画内容】新たな社会的リスクへ対応する福祉政策のあり方について学ぶ。 【準備学習の内容】人間のライフサイクル・ライフコースと典型的な生活課題について可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第14回	【テーマ】福祉政策の課題と展望② 【計画内容】福祉政策の今日的理念である地域共生社会、地域包括ケアや包摂型福祉政策について学ぶ。 【準備学習の内容】地域共生社会、地域包括ケアについて可能な範囲で調べ学習をしておく。					A
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目のまとめを行う。 【準備学習の内容】14回目までの内容を復習しておく。					A
テキスト		毎回、講義資料を配付する。					
参 考 書		必要に応じて紹介する。					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分 補 足	70%				30%	
質問への対応		E-Mail: ito@hokusei.ac.jp					
資 格		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必					
そ の 他		・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・福祉政策・社会保障などに関係する新聞・TVなどのマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。					

科 目 名		社会福祉行政・福祉計画論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		伊藤 新一郎						
授 業 の 目 的	ねらい	今日の社会福祉の動向をみると、そのテーマの1つとして「地方分権」があげられる。「人材・財源・権限」等を国から地方へ移し、地方主権の下での分権型社会の必要性やそれへの移行が謳われて久しいが、現実には様々な課題が存在する。国と地方の役割と責任をどのように設定するか、最適あり方を巡って議論が積み重ねられている。今後の展望のためには、現状から課題を精査し、その解決策が考えられなくてはならない。いま1つのテーマは、「理念の明確化とその実現に向けた具体的計画の遂行」である。国と地方自治体においては、様々な福祉計画が策定されているが、それらの関係性や整合性、実施状況や評価について課題を明らかにすることが求められている。 以上の内容を踏まえ、本科目では今日の日本における福祉行財政のシステムと福祉計画の動向について、国と地方の役割分担のあり方という視点から現状と今後の課題及び展望について考える。						
	到達目標	(1)福祉の行財の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織および団体、専門職の役割等)について理解し説明できる。 (2)福祉行財政の実際について理解し説明できる。 (3)福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解し説明できる。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】イントロダクション 【計画内容】講義の内容、展開方法、最近の福祉行財政・福祉計画に関する動向等について説明する。 【準備学習の内容】シラバスを確認しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】福祉行財政と福祉計画① 【計画内容】福祉概念と制度の関係について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第3回	【テーマ】福祉行財政と福祉計画② 【計画内容】福祉の法制度の展開、福祉計画の概要について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】福祉行政① 【計画内容】行政の骨格、社会福祉と法制度、福祉行政の組織について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】福祉行政② 【計画内容】社会福祉基礎構造改革について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第6回	【テーマ】福祉財政 【計画内容】社会福祉と財政の関係、国と地方における関係費用の動向、民間社会福祉事業、利用者負担について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第7回	【テーマ】福祉行政の組織・団体と専門職の役割① 【計画内容】相談過程、相談体制、専門諸機関について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第8回	【テーマ】福祉行政の組織・団体と専門職の役割② 【計画内容】地域の相談システム、専門職について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第9回	【テーマ】福祉計画の目的と意義 【計画内容】福祉計画の目的・意義、計画化へのプロセス、福祉実践との関係について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】福祉計画の理論と技法① 【計画内容】福祉計画の基本的視点、プロセス、留意点について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第11回	【テーマ】福祉計画の理論と技法② 【計画内容】福祉計画におけるニーズ把握、評価、住民参加について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第12回	【テーマ】福祉計画の実際① 【計画内容】福祉計画に対する事例研究の視点、老人福祉計画、介護保険事業計画について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第13回	【テーマ】福祉計画の実際② 【計画内容】障害者計画、障害福祉計画、次世代育成支援行動計画について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第14回	【テーマ】福祉計画の実際③ 【計画内容】地域福祉計画について学ぶ。 【準備学習の内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。						A
	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】福祉行財政と福祉計画の課題と展望についてまとめる。 【準備学習の内容】テキストやノートで講義内容を振り返っておくこと。						A
テキスト		毎回、講義資料を配付する。						
参 考 書		必要に応じて紹介する。						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足	70%				30%		
質問への対応		E-Mail:ito@hokusei.ac.jp						
資 格		[健]社会福祉士 _ 必修、社会福祉主事 _ 選必 [心]精神保健福祉士 _ 必修、福祉心理士 _ 選必、社会福祉主事 _ 選必						
そ の 他		新聞やニュース等で本科目に関するテーマに関心を持つこと。						

科 目 名	社会福祉運営管理論				授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名	林 恭裕							
授 業 の 目 的	ねらい	社会福祉基礎構造改革以後、福祉サービスの供給主体は多元化が進行しており、準市場においてサービスを調達することになった。さらに、社会福祉法によりわが国の福祉は、「地域福祉」が中心となり、地域生活支援が福祉の主要なテーマとなった。その結果、福祉の動向を踏まえ多様な供給主体が競合したなかで、安定した質の高いサービスをどのように提供していくか、ということが供給主体にとって重要になった。そこで、本授業では福祉サービスに関わる供給主体の実態について学ぶとともに、適切にかつ効果的な福祉サービスを提供するための理論や福祉サービス管理に必要な経営と運営管理について学ぶ。						
	到達目標	(1)社会福祉法人等の非営利法人の組織・活動を理解する。 (2)福祉サービスに関するマネジメントの狙いと手法を理解する。 (3)社会福祉基礎構造改革以後の福祉システムの特徴を理解する。 (4)社会福祉における経営の理念と哲学を理解する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】福祉サービスの基礎的理解 【計画内容】社会福祉基礎構造改革以後の新しい福祉サービスの提供と管理についての概要を理解する。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第2回	【テーマ】福祉サービス提供組織・団体1 【計画内容】福祉サービス提供組織としての法人の性格と仕組みについて理解する。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第3回	【テーマ】福祉サービス提供組織・団体2 【計画内容】2017年度から始まる社会福祉法人制度改革をもとに社会福祉法人の役割について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第4回	【テーマ】福祉サービスに係る組織・団体1 【計画内容】市民活動の中心となる特定非営利活動法人(NPO 法人)の設立経過と実態を学び、福祉サービス担い手としての役割について理解する。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第5回	【テーマ】福祉サービスに係る組織・団体2 【計画内容】福祉サービスに係る公益法人(公益法人、医療法人等)について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A、L
	第6回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論1 【計画内容】社会市場において、住民のニーズに対応する事業展開をどのようにすすめるか、について経営戦略の基本的な考え方を学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第7回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論2 【計画内容】福祉サービス提供組織における事業計画・組織・管理について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第8回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論3 【計画内容】組織経営における集団力学とリーダーシップのあり方について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A、L
	第9回	【テーマ】福祉サービスの運営管理1 【計画内容】福祉サービスを提供するためのサービスマネジメントの考え方と手法を学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第10回	【テーマ】福祉サービスの運営管理2 【計画内容】福祉サービス提供組織における苦情対応・リスクマネジメント・第三者評価について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A、L
	第11回	【テーマ】福祉サービスの運営管理3 【計画内容】福祉サービス提供の方向性と福祉職場における人事管理の手法について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第12回	【テーマ】福祉サービスの運営管理4 【計画内容】福祉サービス提供組織における賃金、人事考課のあり方について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第13回	【テーマ】福祉サービスの運営管理5 【計画内容】福祉サービス提供組織における人材育成の方法とあり方を学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A、L
	第14回	【テーマ】福祉サービス提供組織の財務 【計画内容】福祉サービス提供組織の財務と会計について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A
	第15回	【テーマ】福祉サービス提供組織と情報管理 【計画内容】改正個人情報保護法を踏まえて、福祉サービス提供組織の情報管理について学ぶ。 【準備学習の内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。						A、L
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会、2017年、『福祉サービスの組織と経営』、中央法規出版、9784805837610							
参 考 書	ドラッカー、1995年、『非営利組織の自己評価手法』、ダイヤモンド社、4478371652							
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	80%				20%		
補 足								
質問への対応	E-Mail:snd29262@nifty.com							
資 格	[健]社会福祉士_必修							
そ の 他	事前学習を必ずすること。成績評価については、筆記試験と受講態度で行い、追試験等を行わないので留意すること。							

科 目 名		健康福祉専門職演習Ⅰ				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		岩本 希							
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために基礎学習の確認を通して必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。							
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、人体の構造と機能及び疾病 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 人体の構造と機能についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。							A、B
	第2回	【テーマ】心理学理論と心理的支援 【計画内容】心理学理論についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第3回	【テーマ】社会理論と社会システム 【計画内容】社会理論についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第4回	【テーマ】現代社会と福祉 【計画内容】現代社会と福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第5回	【テーマ】地域福祉の理論と方法 【計画内容】地域福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第6回	【テーマ】福祉行財政と福祉計画 【計画内容】福祉行財政、福祉計画についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第7回	【テーマ】社会保障 【計画内容】社会保障についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第8回	【テーマ】障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【計画内容】障害者福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第9回	【テーマ】低所得者に対する支援と生活保護制度 【計画内容】生活保護制度についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第10回	【テーマ】保健医療サービス 【計画内容】保健医療サービスについての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第11回	【テーマ】権利擁護と成年後見制度 【計画内容】権利擁護についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第12回	【テーマ】社会調査の基礎 【計画内容】社会調査についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第13回	【テーマ】相談援助の基盤と専門職 【計画内容】相談援助の基盤と専門職についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第14回	【テーマ】相談援助の理論と方法 【計画内容】相談援助の理論と方法についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B
	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【準備学習の内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。							A、B、H
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足			30%		70%			
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他		社会福祉士国家試験を受験する学生は、必ず履修すること。							

科 目 名	健康福祉専門職演習Ⅰ					授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	八巻 貴穂								
授 業 の 目 的	ねらい	介護福祉士養成課程で学んだ介護福祉の知識の確認と復習を行います。繰り返し学ぶことで、各科目に対する理解を深め、介護福祉士国家試験合格を目指します。							
	到達目標	(1)介護福祉士国家試験科目の復習を行うことで理解を深める。 (2)模擬試験を通して、介護福祉士国家試験に合格できるよう準備を行う。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 模擬試験A 【計画内容】授業の進め方、国家試験についての説明を行います。模擬試験を通して、現段階までの理解度を確認します。 【準備学習の内容】3年次までの学びの復習をしてくること。							A、B
	第2回	【テーマ】模擬試験B 【計画内容】模擬試験を通して、現段階までの理解度を確認します。 【準備学習の内容】3年次までの学びの復習をしてくること。							A、B
	第3回	【テーマ】人間関係とコミュニケーション・認知症の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】テーマ科目の予習をしてくること。							A、B
	第4回	【テーマ】人間の尊厳と自立・コミュニケーション技術 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】テーマ科目の予習をしてくること。							A、B
	第5回	【テーマ】介護の基本① 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】テーマ科目の予習をしてくること。							A、B
	第6回	【テーマ】介護の基本② 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】テーマ科目の予習をしてくること。							A、B
	第7回	【テーマ】生活支援技術 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】テーマ科目の予習をしてくること。							A、B
	第8回	【テーマ】介護過程・医療的ケア 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【準備学習の内容】テーマ科目の予習をしてくること。							A、B
	第9回	【テーマ】受験対策講座1 ガイダンス 【計画内容】外部講師による受験対策講座のガイダンスを行います。 【準備学習の内容】受講対策講座に向け、学習ノートの整理を行うこと。							A
	第10回	【テーマ】受験対策講座2 社会の理解① 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【準備学習の内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。							A
	第11回	【テーマ】受験対策講座3 社会の理解② 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【準備学習の内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。							A
	第12回	【テーマ】受験対策講座4 こころとからだのしくみ① 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【準備学習の内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。							A
	第13回	【テーマ】受験対策講座5 こころとからだのしくみ② 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【準備学習の内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。							A
	第14回	【テーマ】受験対策講座6 障害の理解 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【準備学習の内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。							A
	第15回	【テーマ】受験対策講座7 発達と老化の理解 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【準備学習の内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。							A
テキスト	講義時に説明します								
参 考 書	講義時に説明します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足					50%	50%		
質問への対応	初回講義時に説明します。								
資 格									
そ の 他	介護福祉士国家試験受験準備のための科目です。予習・復習など積極的に取り組む姿勢を求めます。								

科 目 名	健康福祉専門職演習Ⅱ					授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	吉田 修大								
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。							
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。							
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】模擬問題を学習する① 保健医療サービス 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第2回	【テーマ】模擬問題を学習する② 権利擁護と成年後見制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第3回	【テーマ】模擬問題を学習する③ 社会調査の基礎 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第4回	【テーマ】模擬問題を学習する④ 相談援助の基盤と専門職 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第5回	【テーマ】模擬問題を学習する⑤ 相談援助の理論と方法 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第6回	【テーマ】模擬問題を学習する⑥ 福祉サービスの組織と経営 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第7回	【テーマ】模擬問題を学習する⑦ 高齢者に対する支援と介護保険制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第8回	【テーマ】模擬問題を学習する⑧ 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第9回	【テーマ】模擬問題を学習する⑨ 就労支援サービス、更生保護制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第10回	【テーマ】社会福祉士国家試験対策 【計画内容】受験の心構えや問題を解くテクニックなどについてを学習する。 【準備学習の内容】配付したレジュメを事前に学習しておくこと。							A
	第11回	【テーマ】苦手科目の学習① 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第12回	【テーマ】苦手科目の学習② 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第13回	【テーマ】苦手科目の学習③ 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第14回	【テーマ】国家試験直前の学習方法① 【計画内容】国家試験直前の学習方法等について説明する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
	第15回	【テーマ】国家試験直前の学習方法② 【計画内容】国家試験直前の学習方法等について説明する。 【準備学習の内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。							A
テキスト	講義時に説明する								
参 考 書	講義時に説明する								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足			30%		70%			
質問への対応	初回講義時に説明する。								
資 格									
そ の 他	社会福祉士国家試験を受験する者は、必ず履修すること。								

科 目 名		健康福祉専門職演習Ⅱ	授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		梶 晴美				
授 業 の 目 的	ねらい	「就業力特別演習Ⅲ」と連動して、3年次からの「就業力特別演習Ⅰ・Ⅱ」、「健康福祉専門職演習Ⅰ」での学習をさらに深め、「就業力特別演習Ⅲ」と連動し、繰り返し復習することで介護福祉士に必要な介護福祉の知識を定着させます。繰り返し学ぶことで、各科目に対する理解を深め、介護福祉士国家試験合格を目指します。				
	到達目標	(1)介護福祉士国家試験科目の復習を行うことで理解を深める。 (2)模擬試験を通して、介護福祉士国家試験に合格できる力をつける。 (3)介護福祉士国家試験に合格する。				
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、模擬試験の解説1 【計画内容】授業の進め方、国家試験受験のための準備について説明し、現在の学習状況を確認します。模擬試験の午前問題の解説を行います。 【準備学習の内容】模擬試験問題を見直してくる。自己の学習ノート、参考書類、模擬試験問題を持参すること。				A
	第2回	【テーマ】模擬試験の解説2 【計画内容】模擬試験の午後問題の解説を行います。 【準備学習の内容】模擬試験問題を見直してくる。自己の学習ノート、参考書類、模擬試験問題を持参すること。				A
	第3回	【テーマ】社会の理解1 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。				A、B
	第4回	【テーマ】社会の理解2 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。				A、B
	第5回	【テーマ】発達と老化の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。				A、B
	第6回	【テーマ】こころとからだのしくみ1 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。				A、B
	第7回	【テーマ】こころとからだのしくみ2 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。				A、B
	第8回	【テーマ】障害の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。				A、B
	第9回	【テーマ】苦手科目の重点学習－社会の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。				A、B
	第10回	【テーマ】苦手科目の重点学習－障害の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイント学びます。 【準備学習の内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。				A、B
	第11回	【テーマ】苦手科目の重点学習－こころとからだのしくみ 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイント学びます。 【準備学習の内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。				A、B
	第12回	【テーマ】苦手科目の重点学習－発達と老化の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。				A、B
	第13回	【テーマ】苦手科目の重点学習－認知症の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【準備学習の内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。				A、B
	第14回	【テーマ】模擬試験解説 【計画内容】模擬試験の解答・解説を行います。各自が不正解した問題について重点的に学習し、確実に身につけます。 【準備学習の内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。				A
	第15回	【テーマ】国家試験受験直前準備 【計画内容】国家試験受験直前の最終調整を行います。受験の心得、注意事項等を確認し、受験当日に備えます。 【準備学習の内容】これまでの学習を整理しておく。				A、B
テキスト		講義時に説明します				
参 考 書		『介護福祉士国家試験合各テキスト2019』、中央法規 『介護福祉士国家試験過去問解説集2019』、中央法規				
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分	補足				
						30%
						70%
						模擬試験
質問への対応		初回講義時に説明します。				
資 格						
そ の 他		介護福祉士国家試験受験準備のための科目です。予習・復習など積極的に取り組む姿勢を求めます。12月に学力評価試験、1月に模擬試験を予定しています。				

科 目 名		健康産業施設実習				授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		上田 知行							
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動や身体活動の増強を提供・支援する現場でのさまざまなケース(性、年齢、身体状況、嗜好など)に対応できる実践応力を身につけることを目的とする。健康産業施設での実習により、健康産業に携わる専門職の役割について実践を通して理解し、さまざまなケースを体験するなかで、前向きに対応する力、応用する力、考える力を養う。							
	到達目標	(1)運動指導者としてふさわしい接遇能力を身につける。 (2)施設の安全管理、利用者の管理、各種トレーニング機器の使用方法を身につける。 (3)体力測定、集団プログラム、個別プログラムの実践力を身につける。							
授 業 の 計 画	【計画内容】 (1)ガイダンス、運動指導者のために必要な行動目標の確認 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。								A
	(2)実習計画の作成 具体的な実習計画を作成する。								B
	(3)～(5)接遇実習 顧客満足度を得られる接遇についての実習と、接遇に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。								D
	(6)～(9)施設管理業務に関わる実習 施設の安全管理・リスクマネジメント、顧客管理に関する実習と、施設管理業務に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。								D
	(10)～(14)健康運動実習 実際の運動指導、体力測定、個別プログラムの作成と指導に関する実習と、健康運動の指導に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。								D
	(15)実習見極め・フィードバック 実習日誌と実習報告書を作成し、これまでの実習を総括した実習報告会を行う。								F、H、L
	【準備学習の内容】 テキストの該当部分に関わる項目を熟読しておくこと。								
テキスト		『健康運動指導士養成講習会テキスト』、健康・体力づくり事業財団							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			50%		50%			
	補 足								
質問への対応		講義時に説明します。							
資 格		[ス]健康運動指導士 _ 必修							
そ の 他		健康運動指導士受験資格を得るためのすべての科目を履修していること。							

科 目 名		福祉実践実習			授業形態	実習・演習	単 位 数	2
教 員 名		黒澤 直子、尾形 良子						
授 業 の 目 的	ねらい	本実習はこれまでの社会福祉および相談援助に関する学びを深化させ、より高度な実践力を涵養することを目的とする。また、本実習ではソーシャルワーカーに求められる力量を高め、社会福祉専門職として活躍できる人材を養成することを目的とする。						
	到達目標	(1)ソーシャルワークの実践過程を踏まえ、クライアントへの場面に応じて適切な関わりができるようになる。 (2)ソーシャルワーカーに求められる実践能力を向上させる。 (3)クライアントの置かれている背景を理解し、アセスメント能力を向上させる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】							
	第1回：オリエンテーション							B
	第2～3回：相談援助実習の振り返り							B
	第4回：事前学習内容の確認							B
	第5～7回：実習課題の作成							B、G
	第8～9回：事例研究および記録の方法の確認							B、G
	第10回：実習前オリエンテーション							B
	第11～15回：施設・機関実習(原則15日間) ※実習期間中、中間時点で訪問指導を行う。							D
	第16回：オリエンテーション							B
	第17～18回：実習の振り返り							B、L
	第19～20回：事例研究報告と事例検討							B、J
	第21～22回：スーパービジョンの事例検討							B、J
	第23～24回：実習中のディレンマ事例研究							B、J
	第25～29回：実習報告書の作成							B、G
第30回：まとめ							B、L	
【準備学習の内容】 学生の実習施設・機関、実習課題に応じて、個別に指示します。								
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			30%		30%	40%	
質問への対応		初回講義時に説明します。						
資 格								
そ の 他		本実習は健康福祉学科4年生で3年次に「相談援助実習」を履修し、かつ単位を修得した学生を対象とする。						

科 目 名		専門演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	3年次の「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」で学習した内容や修得した実践力をもとに、選択した学問領域における課題解決に取り組む。また、卒業研究に取り組む場合は関心のある課題を整理し、卒業研究テーマを検討し、卒業研究の準備に備える。 個々の興味関心や問題意識に基づき、少人数のセミナー形式で、各指導教員のもとで演習を展開する。						
	到達目標	(1)指導教員及びゼミナールの仲間と専門分野の研究を極める。 (2)個々の学生ごとに、関心ある専門分野研究テーマにそって先行研究を調査し整理する。 (3)ゼミナール内での発表やディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高める。 (4)「卒業研究」に取り組む場合は関心のある課題を整理し、卒業研究のテーマを検討する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第1回 オリエンテーション:基本的には「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」と同じ指導教員のもとで展開します。指導教員ごとに少人数のセミナー形式で行い、スケジュールや扱う研究テーマなどについて説明します。展開の詳細は指導教員によって異なる場合があります。							A
	第2回～第6回 自分の(研究)課題を明確にする:「専門演習Ⅱ」に引き続き、各専門領域における自身の持つ問題意識から課題を明確にし、さらに深く文献を通して探求します。 卒業研究に取り組む場合は、研究の意義と目的を学び、先行研究の収集して読みます。							B
	第7回～14回 課題について研究する:文献研究や調査・実験等を行い、そこから得られたことをレポートにまとめ、発表・ディスカッション等を通して、文章作成能力、プレゼンテーション力を高めます。さらには各専門分野に必要な知識を深く学習し、理解を深めます。 卒業研究に取り組む場合は、先行研究を踏まえて自己の研究課題を明確にし、研究計画を立案します。							C、G、J、 F
	第15回 まとめと振り返り:「専門演習Ⅲ」をふり振り返り、まとめを行います。 卒業研究に取り組む場合は、テーマ設定を行い卒業研究の方向性を明らかにします。							L
	【準備学習の内容】 「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」の学びを確認しておくこと。							
テキスト		講義時に説明する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
	補 足			レポート・レジュメ		発言や活動の積極性		
質問への対応		担当教員が随時対応する。						
資 格								
そ の 他		「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」を単位修得している、もしくは「専門演習Ⅰ」を並行履修していること。						

科 目 名		卒業研究			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	「卒業研究」では、福祉・介護・健康に関する学問分野の専門性を高めることを目的とした研究活動に取り組む。設定したテーマに関する先行研究の調査を行い、課題を再確認し課題解決のための方策を探る。課題解決策を探求し実践的な課題解決能力を養う。また、各自で取り組んだ研究を論文形式または同レベルの形にまとめ、発表会を通じてその成果を発表する。						
	到達目標	(1)「専門演習Ⅲ」で設定した研究課題を解決するために専門的な研究を行う。 (2)研究的思考の重要性について理解し、自己啓発につなげる。 (3)研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。						
授 業 の 計 画	【計画内容】							
	第1回	オリエンテーション 授業の展開と卒業研究作成要領などの説明を行う。(担当教員)					A	
	第2回～第3回	研究計画及び研究テーマの検討 指導教員と共に研究計画および研究テーマを決定する。(担当教員)					B	
	第4回～第5回	研究計画及び研究テーマのゼミナール内討議 研究計画及び研究テーマをゼミナール内で討議する。(担当教員)					H	
	第6回～第13回	卒業研究の実践 指導教員の指導のもと、研究計画に沿った卒業研究に取り組む。(担当教員)					C、G、J	
	第14回～第15回	卒業研究のまとめとプレゼンテーション 卒業研究をまとめ、プレゼンテーションを実践する。(担当教員)					F	
	【準備学習の内容】 「専門演習Ⅲ」の研究課題に係る先行研究の文献などの調査を行うこと。毎回、体系的で専門的な研究ができるよう準備すること。							
テキスト		講義時に説明する						
参 考 書		講義時に説明する						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			70% 卒業研究の内容		10% 研究意欲他	20% 発表会の内容	
質問への対応		随時指導教員が対応する。						
資 格								
そ の 他		「専門演習Ⅲ」を単位修得済みであること。						

科 目 名			介護実習指導Ⅲ		授業形態	演習・実習	単 位 数	1
教 員 名			八巻 貴穂、梶 晴美、佐藤 郁子、本間 美幸					
授 業 の 目 的	ねらい	本科目は、介護実習の総まとめとして展開され、利用者の生活を包括的にとらえる視点を育成する。介護福祉士に必要な社会性や人間性を育成する場とし、個々の学生の自己覚知を促し、「訪問介護実習」へ意欲的に取り組む姿勢を育成する。在宅で生活する利用者の生活状況を理解し、介護サービスの在り方を考える。在宅生活支援の特質を理解すると同時に、施設で生活する利用者支援との共通性も確認し、介護福祉サービスの生活支援の意義を理解する。						
	到達目標	(1)訪問介護サービスの発達の沿革と在宅生活を支える制度を理解する。 (2)高齢者の在宅生活を支える訪問介護の現状と課題を学ぶ。 (3)障がい者の在宅生活を支える訪問介護の現状と課題を学ぶ。 (4)訪問介護実習報告会に参加し、多様な在宅支援のあり様を学ぶ。 (5)介護実習全体をとおしての介護福祉の理解を確認する。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】「介護実習指導Ⅲ」ガイダンス 【計画内容】介護実習＜第7段階＞の意義を理解します。訪問介護実習に必要な記録用紙などを配付し、個々の実習課題を検討するなど、実習の準備学習をスタートします。 【準備学習の内容】シラバスの内容と「介護実習要項」の該当箇所を読んで講義に臨むこと。					A、H	
	第2回	【テーマ】ホームヘルプサービスの制度の概要 【計画内容】高齢者福祉、障害者福祉の変遷の中でのホームヘルプサービス確立の沿革を理解します。 【準備学習の内容】配付資料とともに、「介護の基本Ⅰ」p.76-p.79を読んでおくこと。					A、H	
	第3回	【テーマ】訪問介護の視点と役割(高齢者編) 【計画内容】介護保険制度における訪問介護サービスについて学び、映像資料などから在宅で暮らす高齢者のニーズや訪問介護の視点と役割を考えます。 【準備学習の内容】配付資料に示す制度や専門用語について調べておくこと。					A、H	
	第4回	【テーマ】外部講師講話① 高齢者の在宅生活支援におけるホームヘルパーの活動と役割 【計画内容】高齢者の在宅介護におけるアセスメントと訪問介護計画の視点、利用者や家族との関わり方などについて学びます。 【準備学習の内容】講話から学んだ内容と考察についてレポートを作成すること。					A	
	第5回	【テーマ】訪問介護の視点と役割(障がい者編) 【計画内容】障害者総合支援制度における訪問介護サービスについて学び、映像資料などから在宅で暮らす障がい者のニーズや訪問介護の視点と役割を考えます。 【準備学習の内容】配付資料に示す制度や専門用語について調べておくこと。					A、H	
	第6回	【テーマ】外部講師講話② 障がい者の在宅生活支援におけるホームヘルパーの活動と役割 【計画内容】障がい者の在宅支援におけるアセスメントと訪問介護計画の視点、利用者や家族との関わり方などについて学びます。 【準備学習の内容】講話から学んだ内容と考察についてレポートを作成すること。					A	
	第7回	【テーマ】事前学習の発表 【計画内容】各自の事前学習テーマを発表と質疑応答をグループワークで行い、訪問介護実習の準備とします。 【準備学習の内容】各自の事前学習テーマについて、資料および発表原稿を作成すること。					F、H	
	第8回	【テーマ】訪問介護実習事前指導 【計画内容】訪問介護実習の諸注意について、最終的な確認をします。また、配属先の実習機関の概要と実習内容を確認します。 【準備学習の内容】テキスト「介護総合演習」の第6章を読んで授業に臨むこと。					A、H	
	第9回	【テーマ】訪問介護実習① 【計画内容】配属された実習機関において、オリエンテーションを受けます。 【準備学習の内容】これまでの学びを復習して、訪問介護実習に臨むこと。					D	
	第10回	【テーマ】訪問介護実習② 【計画内容】配属された実習機関において訪問介護員に同行して利用者宅を訪問(3件)し、訪問介護の実際を学びます。 【準備学習の内容】これまでの学びを復習して、訪問介護実習に臨むこと。					D	
	第11回	【テーマ】訪問介護実習③ 【計画内容】配属された実習機関において訪問介護の反省会を行い、各自の訪問介護実習を振り返ります。 【準備学習の内容】訪問した事例についてまとめ、疑問・質問を整理しておくこと。					D	
	第12回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ① 記録の整理 【計画内容】訪問介護実習後の学びを報告用記録用紙に整理して学びを深めます。訪問介護実習の全記録を見直し、各自が報告会資料を作成します。 【準備学習の内容】テキスト「介護総合演習」の第8章を読んで授業に臨むこと。					A、H、J	
	第13回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ② 事例検討カンファレンス(前) 【計画内容】各自が実習で出会った在宅介護の事例について、報告用シートに基づき事例検討を行い、意見交換を行いながら在宅介護および在宅生活支援について理解を深めます。 【準備学習の内容】各自の訪問事例を整理し、報告する準備をしてくること。					H、J	
	第14回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ② 事例検討カンファレンス(後) 【計画内容】各自が実習で出会った在宅介護の事例について、報告用シートに基づき事例検討を行い、意見交換を行いながら在宅介護および在宅生活支援について理解を深めます。 【準備学習の内容】各自の訪問事例を整理し、報告する準備をしてくること。					H、J	
	第15回	【テーマ】訪問介護実習報告会 【計画内容】実習学生の報告から、それぞれの個別的な学びを共有し、意見交換することで学びを深めます。 【準備学習の内容】事前に配付した「報告資料集」を熟読してしておくこと。					F	
テキスト		白井孝子編、2014年、『介護福祉士養成テキストブック9 介護総合演習』、ミネルヴァ書房、9784623070251 適宜プリントを配付します						
参 考 書		介護概論、介護課程、介護技術演習のテキスト						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			40% 事前学習・レポート・報告会資料		30%	30% 実習・実習記録・発表	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[健]介護福祉士_必修						
そ の 他		「介護実習指導Ⅱ」「介護実習Ⅱ」を修得済みであること。 本科目の受講状況その他により介護実習への準備が不足と判断した場合は、訪問介護実習を延期する場合があります。 6月18日～29日の期間中に訪問介護実習を実施します。						

科 目 名		医療的ケア演習			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		竹内 美幸						
授 業 の 目 的	ねらい	医療的ケアⅠ・Ⅱの基本知識をもとに、医療的ケアを安全に適切に実施するため、シュミレーターを用いて効果的に演習でき、一人で手順通りに実施できる。						
	到達目標	(1) 口腔内喀痰吸引が、5回目以上で手順通りに実施できる。 (2) 鼻腔内喀痰吸引が、5回目以上で手順通りに実施できる。 (3) 気管カニューレ内喀痰吸引が、5回目以上で手順通りに実施できる。 (4) 胃ろう経管栄養が、5回目以上で手順通りに実施できる。 (5) 経鼻経管栄養が、5回目以上で手順通りに実施できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】口腔内喀痰吸引演習 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】医療的ケアⅠで学んだ内容を確認 チェック表を確認						B
	第2回	【テーマ】口腔内喀痰吸引演習 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】第1回で不備だったところの振り返り 自己練習						B
	第3回	【テーマ】口腔内喀痰吸引演習 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】第2回目で不備だったところを振り返り 自己練習						B
	第4回	【テーマ】鼻腔内喀痰吸引演習 【計画内容】鼻腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】口腔内喀痰吸引との違いを理解しておく						B
	第5回	【テーマ】鼻腔内喀痰吸引演習 【計画内容】鼻腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】第4回目で不備だったところ振り返り 自己練習						B
	第6回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引演習 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】滅菌物の取り扱いを確認						B
	第7回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引演習 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】第6回目で不備だったところを振り返り 自己練習						B
	第8回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引演習 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】7回目で不備だったところを振り返り 自己練習						B
	第9回	【テーマ】喀痰吸引のまとめ 【計画内容】口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内の喀痰吸引を一連の流れでシュミレーターを用いて実施する 【準備学習の内容】安全、確実に実施するための留意点を確認しておく						B
	第10回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習 【計画内容】胃ろう経管栄養をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】医療的ケアⅡ出の学びを復習						B
	第11回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習 【計画内容】胃ろう経管栄養をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】第10回目で不備だったところを振り返り 自己練習						B
	第12回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習 【計画内容】胃ろう経管栄養をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】第11回目で不備だったところを振り返り 自己練習						B
	第13回	【テーマ】経鼻経管栄養演習 【計画内容】経鼻経管栄養をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】胃ろう経管栄養との違いを確認						B
	第14回	【テーマ】経鼻経管栄養演習 【計画内容】経鼻経管栄養をシュミレーターを用いて実施 手順通りに実施できるか評価表を用いて確認 【準備学習の内容】第13回目で不備だったところを振り返り 自己練習						B
	第15回	【テーマ】経管栄養演習まとめ 【計画内容】胃ろう経管栄養と経鼻経管栄養の違い、共通点を整理する 【準備学習の内容】自分の間違えやすい点を再確認						B
テキスト		プリントを使用						
参 考 書		プリントを使用						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足		80%			20%	評価表に沿って手順通りにできるまで実施する	
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[健]介護福祉士_必修						
そ の 他		評価表は、授業初日に配付します。						

講義要綱
SYLLABUS
生涯スポーツ学部 4 年次

平成30年 4 月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL (011) 386-8011
FAX (011) 387-1542

